

キミの 個性に 全力 ばんそろう

伴奏 一人ひとりの個性をともに「奏」でます
伴創 あなたのミライ像をともに「創」ります
伴走 進路満足度100%に向けてともに「走」ります



学校法人 都築教育学園
鹿児島第一中学校・高等学校



勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならん。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベートされるということなんだ。カルチュアというのは、公式や単語をたくさん暗記している事ではなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆっったりと、真にカルチベートされた人間になれ！

太宰治（1942） 正義と微笑



Society 5.0

新しい時代Society5.0の開拓者のみなさんへ

鹿児島第一中学・高等学校に関心を持ってきてありがとうございます。少し変わった学校案内だな、と思った人もいるかもしれません。この案内は私たちが「もっと学校を知ってほしい」「新しい仲間に出会いたい」という思いを込めて作ったものです。生徒と先生でつくったこの作品を、楽しみながら読んでもらえるとうれしいです。

みなさんは Society (ソサエティ) 5.0 という言葉を知っていますか。これは日本がめざす未来の社会で、みなさんが大人になって生きていく世界の姿です。

2026年の今は、Society4.0 (情報化社会) からの転換期と言われています。スマホやタブレットを使い、いつでもインターネットにつながる社会です。みなさんのお父さん・お母さんが子どもだったころには、スマホはありませんでした。彼らはSociety4.0を切りひらいた“開拓者”だったと言えるでしょう。

では、Society5.0とはどんな社会でしょうか。簡単に言えば、AIやロボット、データの力がもっと身近になり、私たちの生活を助けてくれる、人にやさしい未来の社会です。災害への対策やさまざまな困りごとの解決が、今よりもっと進むと期待されています。

今の小学生・中学生には少し先の未来のように思えるかもしれません。でも、みなさんはすでにChatGPTを使ったり、タブレット学習をしたりして、AIといっしょに学んでいます。未来は

思っている以上に近いところまで来ています。

こんな時代のなかで、「学校の勉強は大人になったら忘れるから、早くから仕事に役立つことを学んだ方がいい」という意見もあります。しかし、私たちは少し違う考えを持っています。鹿児島第一は数学・国語・理科・社会・外国語を中心に学ぶ普通科の学校です。新しい時代を生きるみなさんにも、この5教科の学びを大切にしてほしいのです。なぜなら、未来をひらくカギは「教養」にあると考えているからです。

“教養”とは、「自分が社会のなかで何ができるかを考え、周りのために行動できる力」と言いかえることができます。それは、AI時代のSociety5.0を生きるための、人としての土台になる力です。

もちろん、知識をただ覚えるだけではありません。AIやロボットがパートナーになる社会では、学んだことを使って「考え・判断し・表現すること」がもっと大切になります。

そのために、私たちが大切にしている教育を、この学校案内にまとめました。ぜひページをめくりながら、「未来を切りひらく学び」を感じてみてください。

皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

学校長 **吉武毅人** 博士(医学)

エンドロールに名前が流れる日を目指して

熊野共兵 鹿児島第一中学校・高等学校→東京大学 #ゲームクリエイター



僕がゲームにハマったのは幼少の頃です。特にロールプレイングゲームが大好きで、主人公が運命に翻弄されるストーリーや、徐々に強くなっていく感覚にワクワクしたことを覚えています。以降、たくさんのゲームから感動を味わい、いつしか「自分もエンドロールに名前を載せたい。感動させる側で仕事をしたい」と強く思うようになりました。

実家は国分で、兄二人が第一中学校の生徒だったこともあり、僕も自然と第一中学校に進学しました。高校では部活に入らず、友人と二人で動画制作同好会を立ち上げました。文化祭で上映した映像作品に自分の名前がテロップで流れた瞬間、「名前が出る嬉しさ」を初めて体験しました。同時に、「本当に名前を出したいのはゲームのエンドロールだ」と確信しました。

高校時代、進路を考えた時、僕の頭に浮かんだのは専門学校でした。でも担任で東大出身の重満先生が「大きなゲーム会社で働きたいなら、専門学校だけが道じゃない」と背中を押してくれて、僕は東大を目指すことになりました。1年浪人もしましたが、人生で一番勉強した時間であり、今振り返るとあの経験が、僕の「粘り」を育ててくれたと思います。

東大では機械工学科へ進学しました。大学でもゲーム愛は止まらず、時間さえあれば、あらゆるゲームを触っていました。就活では迷わず現在所属しているコーエーテクモに応募しました。ずっと画面越しに見ていた憧れの世界に自分が飛び込むことができる!と、採用をいただいた時は本当に嬉しかったです。現在はプランナーとして開発現場で働いています。

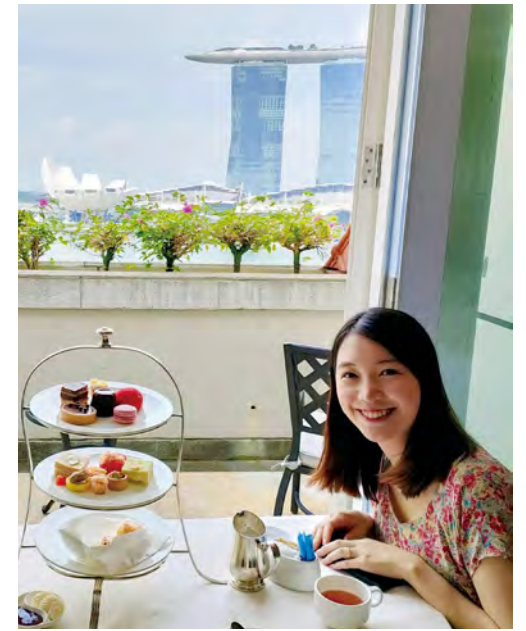
まだスタッフロールに名前は載っていません。現在、何年もかけて大勢の仲間たちとタイトルを作り上げています。「名前がエンドロールに流れる日」まではもう少し時間がかかりそうです。自分の目標を達成するために、今日も僕は横浜でゲーム作りに向かっています。

現役の第一生には、好きなことを大切にほしいと伝えたいです。ただそれだけでなく、その「好き」がどんな「力」に変わるかを探してほしいと思います。ゲーム会社に入った僕が、今一番必要だと思うスキルは、勉強の点数でも英語でもなく、人と関わり、違いを楽しみ、思いを伝える力です。第一の6年間で得られるのは勉強だけではありません。多様な人や経験に触れ、自分の心を動かしてくれる何かを見つけてください。

どこでも生きていける 語学が開いた私の世界

王麗晴
鹿児島第一中学校・高等学校→上智大学

#シンガポール在住



両親は中国籍で、生まれも育ちも霧島です。兄が第一中学校に通っており、英語に力を入れているという評判を聞き、私も第一に進学しました。小さいころから両親に連れられて海外に行く機会が多く、自然と英語や外国、異文化に興味を持つようになったのだと思います。

中高の6年間で、英検など目に見える目標のあった英語がとても好きになりました。中学で2級、高校では準1級を取得し、英語に困らないレベルになりました。また、高校2年次のニュージーランド留学で「言葉が通じる面白さ」を実感し、ますます海外への興味が強くなりました。

大学は上智大学のスペイン語学科へ進学しました。英語に加え「もう一つ世界を広げたい」と思ったことと、留学先の友人が南米出身だったことがきっかけでした。在学中に北京でのインターンや、マイアミでの交換留学を体験しました。中国語・英語・スペイン語を使いながら、言葉で世界が開いていく感覚を体で学びました。

卒業後はキッコーマンに経理職として就職しました。もともと数字を扱うことが好きで自分に合っていました。海外と関わる機会は限られていま

た。「それなら自分で行く」とマレーシアにあるフランス系製薬会社に転職しました。ここで出会った夫は中華系マレーシア人です。英語や中国語を使いながら、国籍や文化の異なる仲間と囲まれて過ごした時間は、人生を変える経験でした。

その後、夫の転職を機に家族でシンガポールへ移住。現在は日系法律事務所の会計担当として働いています。子どもたちはシンガポール国籍で、家や日本の実家では中国語と日本語、学校では主に英語。家族の会話や生活そのものが多文化です。

シンガポールの教育はハードですが、異なる文化的背景を持つ子どもたちが同じ教室にいる環境は、子どもにとって大きな魅力です。私自身、社会に出る前に中国、ニュージーランド、アメリカで暮らした経験があるからこそ、「どこでも生きていける」という確信があります。

在校生の皆さんには、迷ったら動いてみてと伝えたいです。海外でも、県外でも、興味があるなら行ってみる。勉強だけでなく、文化祭や部活動、日々の経験すべてが財産になる。世界は広いし、場所は1つじゃなくていい。私は鹿児島で育ったことを誇りに、これからも自由に生きていきます。

最初の砦として命に向き合う—救急科医の使命

中村壮史 伊佐市立大口中学校→鹿児島第一高等学校→鹿児島大学 #救急科医師



私は伊佐市の大口出身です。地元の大口中学校を卒業し、スクールバスで通えることもあって第一高校に進学しました。公立中学からの入学でしたが、同級生はみんな優しく、自然に溶け込むことができました。文化祭や体育祭も楽しかったことを覚えています。

空手の授業やサッカー部の練習を通して「地味でも基礎を積み重ねることの大切さ」を体で覚えた気がします。これが後の医師としての忍耐力に確実につながっています。医学を志したのは、高校2年の時、担任の重満先生に「医師を目指してみたら」と言われたことがきっかけでした。スポーツに関わる理学療法や柔道整復師に興味がありましたが、「医師になればスポーツドクターなどの選択肢が広がる」という言葉に背中を押されました。1年浪人生活を送りましたが、「基礎を大事に」という空手・部活動の経験と重満先生の言葉を胸に勉強を積み、鹿児島大学医学部に合格しました。

大学では、次第に救急医療に惹かれていきました。当時人気だったドラマ「コード・ブルー」に影響を受けたことも大きいです。命の瀬戸際にいる患者様と向き合う医師の姿を目にし、「どん

な状態でも最初の砦として立てる医者になりたい」と思うようになりました。

現在は鹿児島大学病院の救急科に所属し、救急車の受け入れや集中治療室での重症患者対応、ドクターヘリの乗務などを経験しました。夜勤は16時間にも及びますが、緊急搬送される方の命を預かる責任を思うと気が引き締まります。ときには目の前で看取りをすることもあり、患者様とご家族の感情に寄り添うことの大切さを強く感じます。災害時の医療支援(能登半島地震)にも参加し、医療資源の偏りや地域医療の課題も身に染みて感じています。だからこそ、「最初の判断役」になることに使命感があります。救急医の存在が、その後の専門科に繋ぐための“入口”として機能することで、患者様とご家族の安心に直結すると信じています。

最後に現役生へ。若さは武器です。やりたいことを見逃さず、今できることに全力で取り組んでください。遠回りしてもいい。道が変わってもいい。第一には生徒一人ひとりの個性を尊重し最大限にサポートしてくれる環境が整っています。選んだ道を正解にする力は、自分の中にあります。

世界を見て戻った原点

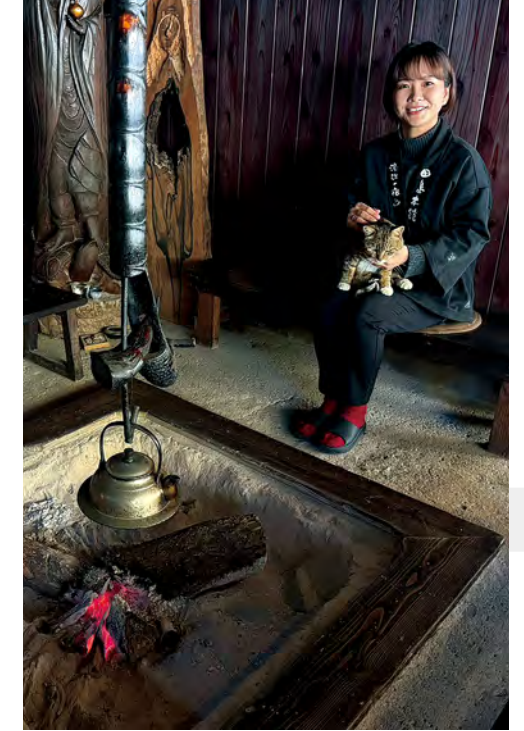
榎並聡子
霧島市立福山中学校→
鹿児島第一高等学校→
長崎県立大学シーボルト校

#旅館支配人

私は霧島市の小さな集落で育ちました。海外への憧れが強く、「世界ウルルン滞在記」を見ながら、いつか自分も知らない国へ行きたいと夢を膨らませていました。第一高校を選んだ理由は、英語に強いこととホームステイ制度があると聞いたからです。中学時代には霧島市の青少年企画でマレーシアへの交換留学を経験しており、第一高校では3カ月のニュージーランド語学研修にも参加しました。初めて英語で会話が通じたときの感覚は今でも体に焼きついています。

高校時代は女の子4人でバンドを組み、ギター担当として文化祭やイベントで演奏しました。大塚愛さんやSCANDALさんの曲をコピーして、友だちと夢中で音を鳴らした時間は、第一での何よりの思い出です。

進学は、国際的に活躍している先輩が多い長崎県立大学シーボルト校を選びました。青年海外協力隊を研究する教授がおり、「世界に関わる勉強がしたい」と思ったのがきっかけです。国際交流学科で文化や世界の情勢を学びながら、大学でもまたバンド、そしてシアトルでのホームステイなど、とにかく楽しみながら学びました。「英語が好き」という気持ちはずっと変わ



りませんでした。就職はまったく違う方向へ転がります。古館プロジェクトの新規事業立ち上げに声をかけてもらい東京へ出ました。ものづくりの現場に関わる毎日は刺激的でしたが、ハードな環境もあり、長くは続きませんでした。

それから営業などの仕事を経て、コロナ禍のタイミングで鹿児島島に帰ることを決めました。リモートワークが普及し、地元でも働けると気づいたこと、そして20年近く温泉旅館で働いていた母を助けたいと思ったからです。

今は妙見温泉・田島本館の支配人として、管理や配膳、清掃まで何でもこなしながら、夜はオンラインで東京の会社の採用面談の仕事もしています。地域の子ども向けに職業体験イベントを企画するなど霧島を盛り上げる活動もしています。海外への関心は今も消えていません。もし行けるなら、またどこかの国の子どもたちに会いに行きたい。でも今は、地元の温泉で必要とされていることが嬉しくてたまりません。世界へ飛び出す経験も、地元に戻る選択もどちらも正解で、その場その場で自分が“やりたい”と思う方向へ動けば、ちゃんと道は続いていくと思います。

ミライを共に育む6年間 第一パスウェイプログラム

教職員・先輩・OB/OGが寄り添い、落ち着いた環境で自分のミライ像を共に育み、実現するための6年間。

早期に学習習慣の確立を実現し、中学3年生を目途に自主的に学びに向かえるように指導します。また個性を活かせる次のステップとなる卒業後の進学先についても早めに模索を促すことで、本人の学びへの情熱の着火・継続を応援します。



全力ばんそうで自覚する個性

中学生活という新しい環境に適応する大事な時期です。特に鹿児島第一中学校は幅広い地域から進学する生徒が多く、小学校の知人がいないケースもあります。花見弁当、1日遠足、宿泊学習といった多くのイベントを通じて、新しい友人との人間関係をスムーズに構築できるようにしています。新しい友人や先輩、教職員と触れ合う中で、自分の個性(好きなこと、得意なこと)を自覚できるようにデザインされています。また他者の個性を認め、尊重し合うことの重要についても併せて学ぶこととなります。皆さん一人ひとりが奏でるメロディー・個性がより際立つように、教職員一同で「全力ばんそう」します。

ミライ像を探求し創る全力ばんそう

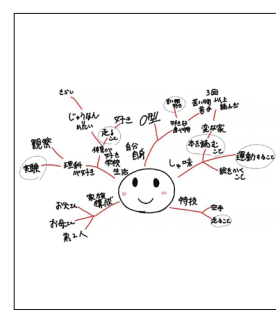
中学生活にも慣れ、鹿児島第一の文化・価値観を育みます。中学3年次のシンガポール修学旅行は一生の思い出となります。卒業後は内部進学する生徒が多いです。高校から入学する生徒も含め、良い刺激を与えあう仲間との再スタートとなります。生徒によってタイミングがありますが、この頃に個性を活かしたミライは、どのようなカタチにしたいかを探究していきます。進路・進学先を意識し、自分が身に付けるべき知識や体験について探求していきます。中学・高校の担任はもちろん、各教科の先生や部活・クラブ活動の顧問など多くの教職員が個性を尊重し、皆さんのミライ像を「全力ばんそう」します。

全力ばんそうでミライ像を共に実現

生涯を通じて友と呼べる仲間が出来る頃です。ミライ像の実現に向け、ニュージーランド語学研修に行く人も。先生と相談しながら自分のペースで進路に求められる力を着実に獲得していきます。OB・OGとの交流なども通じて、卒業後の自分を具体的にイメージすることが出来るようになります。学力を伸ばす生徒や、社会貢献活動やプレゼン対策に励む生徒もいます。一人ひとりの希望進路を尊重し、実現に向けて「全力ばんそう」します。卒業後も個性の実現に向け継続している姿を見せに何時でも学校に帰ってきてくださいね。

- 成長シーン** 学ぶべき力・目標が定まった自分のペースで走りつづける希望を叶えることができたミライ像を目指し続ける!
- 探求プログラム** 環霧島学(成果発表会) ニュージーランド語学研修(任意) OB・OG交流
- 学力開発** 進学志望校の決定 受験学力の完成

第一パスウェイプログラムの特徴



【マインドマップ】自分自身が考えていることを描き出すことで、自分を客観視する方法です。



【環霧島学】霧島圏内の身近なものから問いを立て、自分なりの答えを模索し、プレゼンします。

	国語	数学	英語	計
本校	525時間	583時間	758時間	1866時間
標準時間(学習指導要領)	385時間	385時間	420時間	1190時間

【中学校の授業時間】標準時間数より約700時間多く行われます。豊富な時間数で無理なく学習を先取りするために、土曜授業と3年生の2学期から週2回7時間目が加わります。

成長シーン	色んな人がいるんだな 社会って面白いな 自分らしさって何だろう 得意・好きを探してみたい	成長シーン	ミライ像をイメージ どうすれば実現できる? この道に進みたいな どう思う?
探求プログラム	PROJECT BASED LEARNING 宿泊学習 職場体験(学园内・外) 国内留学体験(ENGLISH CAMP)	探求プログラム	VISUAL THINKING SDGS CARDゲーム 学園連携(幼稚園・医療実習) オーストラリア語学研修(任意) キャリア研究基礎(職業・進学)
学力開発	学習習慣の定着化 基礎学力の確立	学力開発	進学先(学部・学科)候補出し 自主的な学習スタイルの体得

私たちが「キミの個性に全力ばんそう」 ミライをとともに育みます。

理科は日常にあふれるたくさんの不思議を理解できる学問です。「果物はなぜ熟すと木から落ちるのか?」「色鮮やかな花火の仕組みは?」日常の見え方が変わる瞬間こそ、理科の楽しさであり、魅力です。

かつて病気は”呪い”、恐竜は”架空の生き物”と信じられてきました。これが事実ではないと分かったのは、先人たちが小さな「なぜ?」に目を向けたからです。疑問を持ち、確かめ、考え続ける力こそ、今求められている理科的な力だと考えます。

長い時間をかけて起こる自然現象や、宇宙のできごとを「見える化」する授業を大切にしています。VRやすごろくなどを使い、時間や空間を行き来しながら考えることで、理解を実感へとつなげることをこだわりとしています。

受験は、すぐに結果が出なくても、積み重ねた時間が確実に力になる道のりです。迷ったり不安になることは当たり前です。大丈夫、自分の歩幅で、一歩ずつ進んでください。その歩みは、きっと未来の自分を支えてくれます。

中野先生



理科 数学

数学は美しい。その美しさは、複雑な問題をシンプルな式で解けるすっきり感や、自然や図形にひそむ不思議なきまりを見つける楽しさにあります。論理の流れがぴたりと合う瞬間は、まるで芸術のように心を動かします。

どの教科でも共通して言えますが、特に数学では「論理的に筋道をたてて考える力」が大切です。この力は単に数学の問題ができるようになるだけでなく、数学を学ぶことがなくなっても一生使い続けることができる力と言えます。

授業は難しい問題ほど明るく、わかりやすく伝えることをモットーにしています。学習方法を何パターンか提示し、自分にあった学習の方法を見つけるきっかけも提示できるように心がけています。自分の力で様々な問題に立ち向かえる生徒の育成を目標にしています。

間違いを恐れず挑戦し、解けた瞬間の感動を新しい力に変えてください。受験はその感動を味わう旅ともいえるかもしれません。中学受験、高校受験という旅の終着点で待っています。

野田先生



鹿児島第一中学校・高校で生徒の先生たちは、一体どんな理念や信念を持って生徒の指導に当たっているのでしょうか。偏差値やテストの点数に現れる数字だけではなく、森羅万象の謎を解くヒントとなるような学びの原理がそこにはあります。

地理はその“地”の“理(ことわり)”を学び、様々な現象の要因を明らかにする学問です。そして、その国・地域の“個性”・“らしさ”・“地域性”を探究し、多様性を享受する姿勢を培います。これが地理の楽しさ、面白さ、そして浪漫です。

地理は、地名や産業などの暗記科目ではありません。文字や図表、写真など複数の資料を比較し、考察、読み解く力が必要です。本校の地理は、論理的思考力と判断力・洞察力そして表現力を養成する学習を目指しています。

私が一貫して心掛けてきたことは“平易で理解しやすい言葉・内容で教授すること!”です。要所要所に“はしもギャグ”なる飛び道具を繰り出し、少しでも興味関心を持ち、成績向上の一助となってほしいと願っています。

長瀬剛さんの楽曲に『気張りやんせ』があります。“一度どまけ死ん限い気張いやんせ♪”受験生の皆さん!一生に一度や二度、け死ん限い気張ってみて下さい。その気張りは、必ずや自分自身の明るい未来の糧となり財産となること間違いありません。

橋本先生



地理

国語

時代を超えて人間の「感性」に触れられる学問は少ないです。現代を生きる私たちとは違う感性に触れることは、人生を豊かにしていくことにも通ずると考えています。

国語で得られる力は「問われている内容を的確に理解し、必要な情報を取捨選択する力」そして「与えられた情報を活用する力」です。様々なことに疑問を持ち、原因を考え、情報を集め「答え」を創り上げる練習を重ねてください。

古き良き日本を感じ、古典を楽しんでほしいという思いから、当時の文化や時代背景などをより多く伝えるよう心がけています。同じ日本語でありながらも壁を感じやすい古典ですが、より身近なものとして楽しんでほしいです。

受験に向けてがむしゃらに頑張った期間は、思い返してみても人生で一番辛く、けれども充実した時間でした。ただ辛いだけのものになるのか、「自分が思い描く自分」を手に入れるための第一歩となるのか、それは自分次第!自分のための「今」を全力で生きてください!

小路先生



活きる英語力を蓄えるメソッド

鹿児島第一といえば「英語力」と評されることも。海外で活躍する卒業生も多くいます。進学に必要な英語の知識に加え、常勤の外国人教員と多く触れ合うことで、英語をあなたにとって身近なコミュニケーションツールにします。



英会話

翻訳アプリを使えば、誰でも世界中の人々と会話することができる時代になりました。しかし、自らの英語力ひとつで海外の人たちの輪に飛び込み交流する姿勢が必要だと考えます。本校ではこの姿勢を英会話を通して身につけます。



英文法

現在、英語でのコミュニケーション力の育成が求められています。これを円滑に行い、より深い議論を行うために、中中で学ぶ英文法や英文解釈の知識習得はとても重要です。本校では文法も手を抜きません！



TEAM TEACHING

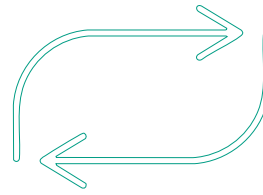
本校の外国人教員は日本人教員のお手伝いではなく、メインで授業を行います。毎日、50分間英語のシャワーを浴び続けながら英語力を磨きます。

日本人教員の役割

外国人教員の英語指導で生徒が理解できていないところを、簡単な英語で言い直し、英語を英語として理解する手伝いをします。

外国人教員の役割

教科書の内容の説明だけでなく、扱われている内容をもとにディスカッションや要約などの活動をリードします。また、コミュニケーションスキルの向上にも努めます。



第一メソッドで資格にも受験にも、人生にも活きる英語力を。

英語力を試すチャレンジ

本校には授業で獲得した英語の力を活用する“腕試し”の機会が多くあります。海外語学研修へ参加した生徒達が帰国の途に就き、鹿児島空港に降り立った際に見せてくれる自信に満ちた表情を教職員は毎年楽しみにしています。



国内English Camp

1泊2日で行われる国内English Onlyの合宿。英語でCMを作るなど、仲間と楽しく英語で活動します。様々な国籍のスタッフもいるため英語で交流することができる機会にもなっています。



シンガポール研修旅行

授業で得た知識や英語運用力を実際に使う機会です。有名な観光地を巡ったり、地域の人々と異文化交流を行うことができます。英語学習の意識が高まり、検定等の合格率も上がっています。



オーストラリア語学研修(2週間)

滞在中は英語以外の言語、スマートフォンの使用を控えます。英語で自分の考えを述べたり、何気ない会話を繰り返す中でコミュニケーション能力を磨いていきます。オーストラリアの豊かな自然や文化に触れる活動もたくさんあります。



ニュージーランド語学研修

2か月半、現地の高校で授業を受けます。ニュージーランド滞在中は「日本語を一切話さないようにしましょう！」と覚悟を決め、見事やりきって帰国した時にはとても大きな自信と確かな英語力を手にすることができます。

英検指導スタイル(進度別学習)

2025年度在学生英検取得状況	中1	中2	中3	高1	高2	高3
準1級		1				7
2級		2	2	12	14	35
準2級プラス			2			3
準2級		7	11	34	43	49
3級	14	18	11			
4級	21	22	9			



高校1、2年生全員を対象に、希望する級に分けて英検対策講座を実施します。それぞれのコースに分かれ、合格したら次の級のクラスへ昇格できます。2次の面接試験もマンツーマンで特訓し、全員合格を目指します。

総合型選抜を勝ち抜く「生きる力」

大学入試選抜方式の中で、総合型選抜方式が大きく増えてきています。令和6年度には全国の大学進学者の内、学力検査が重視される一般選抜方式が50%を割り込みました。鹿児島第一では総合型選抜での進学も「全力ばんそう」します。

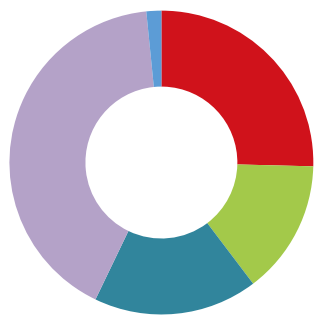
総合型選抜って？

学力検査に依らず、活動報告・学修計画書や面接等を組み合わせることで志願者の能力・適性や学習意欲、問題意識等を総合的に評価する選抜方式です。

鹿児島第一高校の総合型選抜

本校が掲げる「進路満足度100%」を象徴するのが、多様な大学入試選抜方式への対応力です。最新の令和7年度実績では、総合型選抜による進学率が27%に達しました。これは前年度の全国平均(16%)を大きく上回る数字であり、個々の意欲や実力を評価する新しい入試において、本校が時代のトレンドをいち早く捉えている証です。

一方で、最も高い割合を占めるのは一般選抜(48%)であり、日々の学習による確かな学力もしっかりと担保しています。学校推薦型(25%)も含め、生徒がどの道を選んでも全力で伴走する指導体制が、一人ひとりの確かな満足感へと繋がっています。



入試区別進路
 総合型選抜 学校推薦
 指定校推薦 一般入試
 その他

ここが強い！総合型選抜に備える第一カリキュラム

知識・技能

最大6年間の
教員サポート

中高一貫校として6年間で教職員が個性に「全力ばんそう」します。私立学校の為、転動もなく中学時代の先生たちが高校進学後も相談に乗っている姿もよく見られます。

生徒の思考力・表現力・判断力に気を配り、こまめに指導することを大切にしています。

主体性・多様性・協調性

主体的な活動を
重んじる校風

生徒会や部活動、イベント実行委員など主体性を獲得する多くの場が提供されます。強制されることなく、興味を持った活動に取り組むことで、思考・表現・判断力を育むことで、問題意識を育てます。

いま読んでいる学校案内も中高の先輩方が制作の主役です。

思考力・判断力・表現力

様々な学習機会

環霧島学を始めとする探求授業や、学園キャンパス内の大学・短大・専門学校連携、海外語学研修プログラムなど、様々な学習機会を提供しています。

生徒一人ひとりの個性の自覚・探求・実現へ向けた成長を「全力ばんそう」します。

総合型選抜の「全力ばんそう」ケース

実際に総合型選抜に取り組んでいる先輩と、「全力ばんそう」する教職員の歩みをご紹介します。学校案内制作時に現在進行形の生の声から、鹿児島第一ならではの特色を感じ取ってみてください。

第一だからこそ！(本人談)

①「数学観を広げる」

検定、オリンピック、科学の甲子園の数学に挑戦し、教科書を離れた数学に触れました。

②「将来をイメージする」

将来、データサイエンティストになるために、それに関連する統計検定に挑戦しました。

③「学生編集部」

数学だけでなく国語力、考えを言語化する力を鍛えることに挑戦しました。

第一だからこそ！(担任談)

①「漢数英検準1級制覇！」

苦手を得意に、得意はさらに高いレベルに磨き上げました。

②「大好きな数学を実践で」

探究活動では数学の知識とデータ分析をフル活用し「スランプの脱し方」について研究しました。

③「好きなことをとことん！」

勉強と部活の両立のために先を見据えて計画を立てる習慣を身につけた。これが受験対策でも大いに生きました。

祝

九州大学
理学部数学科
総合型合格！

総合型定員7名
選抜方法
・(1次)書類審査
・(2次)共通テスト
面接(数学の口頭試問)



「優れるより異なれ」という言葉にヒントをもらい、自分の個性を磨きました。また、学校から紹介されたいんな機会に選り好みせず挑戦しました。

「キミの武器(アピールポイント)は何か」を問い続けてきました。時には苦手な事にも挑戦しながら必要とされる力を磨いていきました。



磨いた武器：英検、漢検、数検準1級/統計検定/数学オリンピック出場/科学の甲子園出場

中3・高1 個性の探求

高2・高3 個性の実現へ

高1 4月
最初の面談で
九大理学部数学科を希望

高2 1学期
一般選抜以外の方法を調査開始
高2・2学期(夏休み)
三者面談で総合型選抜で受験希望
2年生の内に、PR材料を準備開始

高3 10/23出願
1次:書類審査▶1次合格:12/22
2次:1/31▶2次合格: 2/10

中学時代の担任(1~3年)

好きな数学は難しい問題などにも積極的にチャレンジし、嫌いな英語にはなかなか取り組もうとしない、極端さがありました。2年生の三者面談でじっくり話しをしてからは、英語もコツコツ取り組むようになり、高校で英検、数検、漢検全て準1級取得したことに驚きました。



進路満足度100%を目指します

貴重な青春時代を通じて決める進路は、本当に尊い人生の一里塚です。卒業後何十年経っても、「第一の進路指導は自分の中で満足度100%!」と言ってもらえる学校を目指しています。本人が心から納得し、満足できる卒業の日を迎えられるように「全力ばんそう」します。



それぞれのミライ像に合わせた進路指導

本校では、しっかりとした学力が身につきます。しかし、ただ単に知識を詰め込む場所ではありません。私たちの目標は、生徒一人ひとりが自己を成長させ、自らの夢や目標を追い求める力を身につけることです。Project Based Learning、Visual Thinking、環霧島学、語学研修、隣接の大学などとの学内連携、O・B・OG交流など学校独自のプログラムに加え、ボランティアやイベントなどの地域活動に積極的に参加し、生徒は多様な知識やスキルを身につけることで、それぞれのミライ像に合わせて自由に進路を

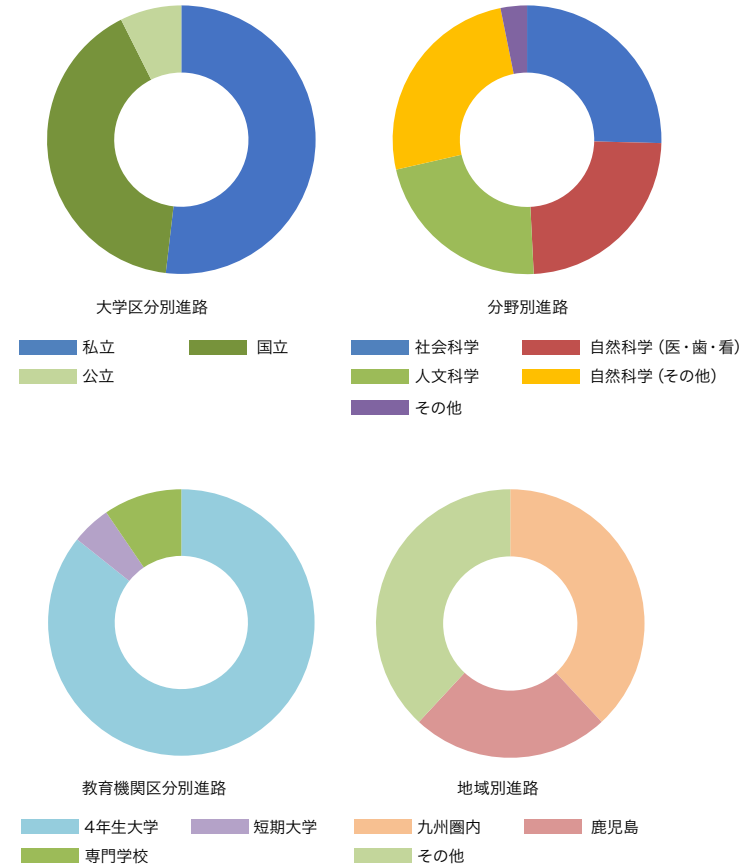
選ぶことができます。大学・短大・専門学校卒業後に就職して、定年まで1社で勤め上げることが必ずしも当たり前、善しとされる時代ではなくなってきています。社会人になってから学びなおし、キャリアアップや生涯学習をする方も多く出てきています。だからこそ、私たちは生徒一人ひとりの個別のニーズや興味を最大限引き出し「全力ばんそう」することで、変化の激しいこれからの世界に対応できる人材を育成します。



2025年度卒業生に加え過年度生を含む。合格実績の詳細はwebサイトをご覧ください。

2025年度それぞれの進路

今年度も一人ひとりの志望や適性に応じた進路を実現できました。総合型・推薦・一般選抜をバランスよく活用し、国公立大学から海外大学まで幅広い進学となりました。生徒の可能性を最大限に引き出す進路指導により、進路満足度100%を目指しています。



多様な進路希望を多様な入試形態でサポートします。

2025年度の進路は、一般選抜を軸に総合型選抜や学校推薦型選抜を組み合わせた、多様な進学形態が特徴です。進学先は4年制大学が中心で、文系・理系ともに幅広い分野に進出しています。

理系では医学・薬学・理学など専門性の高い分野への進学が目立ち、鹿児島大学医学部への13年連続進学、熊本大学薬学部、九州大学理学部への合格など、地域の中核大学への進学実績が際立っています。

一方、文系では九州大学経済学部や大阪大学外国語学部、早稲田大学法学部など難関大学への進学も実現しました。

また、第一工科大学航空工学部航空操縦学専攻のように高度な専門分野を志向する進路や、ブリガムヤング大学(米)への海外進学も見られ、生徒の視野は国内外へと広がっています。進路が多様化しており、生徒一人ひとりの目標に応じた進路選択をサポートしています。

- # 鹿児島大学医学部13年連続進学
- # 大阪大学外国語学部
- # 九州大学理学部・経済学部
- # 熊本大学薬学部薬学科
- # ブリガムヤング大学(米)
- # 早稲田大学法学部
- # 第一工科大学航空工学部航空操縦学専攻

12,475
m²

人工芝グラウンド完成

キャンパスに新しい青空の居場所ができました。
クッション性に優れるこの人工芝グラウンドは、怪我の心配も少なく、生徒たちのエネルギーをしっかりと受け止めます。授業、昼休み、部活動での運動はもちろん、ふかふかの芝生の上で寝転び、友人と語らうリラックスした光景も見られます。

私たちの青春の景色を一冊に

ここからのページは、取材も撮影もデザインのラフ案もすべて生徒の手で。
「この学校の魅力は何だろう？」放課後の教室で何度も話し合い、生徒だからこそ見える青春の景色をこの一冊に映し出しました。



令和7年度 第一学生編集部

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 佐々木慈玖(中1) | 森山寧音(中1) | 内徳妃茉莉(中1) | 清水美優(中2) |
| 渋澤咲久(中2) | 糸木杏莉(中2) | 山下すみれ(中3) | 大迫市佳(中3) |
| 岩谷千桜紀(中3) | 園田はなみ(中3) | 中本莉鈴(高1) | 今村咲智(高1) |
| 新田杏莉(高1) | 吉永ひらり(高2) | 佐々木玲乃(高2) | 上野咲輝(高2) |

学生編集部に入ったきっかけ

渋澤 文章を書くことに興味があり、昨年のパンフレットを読んだ際に「これを生徒だけで作れるんだ」と驚きました。自分もその制作に深く関わってみたいと思ったのがきっかけです。

大迫 昨年も参加していましたが、自分たちが手がけたものが一冊の形になる喜びが忘れられず、今年も参加することにしました。

中本 実は文を書くのがあまり得意ではないのですが、「この学校に入って良かった」という思いを形にするため、あえて苦手なことにも挑戦しようと考えました。

佐々木(玲) 将来はクリエイターとして人の心を動かせるものを作るのが夢です。パンフレット制作なら、デザインや表現の面で学べることが多いと感じて志望しました。

学んだこと、大変だったこと

渋澤 これまでは一人で進めた方が良いものができると思っていました。でも、編集部会で意見を交わすうちに、自分一人では決して辿り着けない新しいアイデアが次々と生まれることに気がつきました。

大迫 大変だったのは、情報を正確に伝えるための先生方への取材です。誌面では小さ

く載るような情報であっても、責任を持って1つひとつ確認して書くことの大切さを肌で感じました。

中本 学年を超えたメンバーとの活動で、コミュニケーションの重要性を学びました。また、「楽しい」は主観だから表現として避けるべき」と教わった時は、客観的に見て伝える難しさと面白さを実感しました。

佐々木(玲) 誰が見ても伝わる表現を考えるのは本当に難しいです。タイトルとリード文の一貫性や、細かな言葉選び一つで全体の印象が大きく変わることを知り、表現の奥深さを学びました。

担当したページのこだわり

渋澤 クラスマッチの熱気や学校のリアルな雰囲気が伝わるよう、本文の言葉選び一つひとつにこだわりました。読んだ人が「楽しそう」と情景を浮かべてくれるような表現を目指しています。

大迫 中学生の1日では、タイトルから本文まで一貫性を持たせることを意識しました。リード文に合わせて、写真を虫眼鏡で覗き込んでいるようなデザインにしたのがポイントです。以前、オープンスクールの際に「パンフレットを読んで入学し

たくなった」と言われたことがあり、その言葉が大きな励みになっています。
中本 高校生の1日では、入学前の自分が「学校生活や家での過ごし方」を不安に思っていたので、その不安を少しでも解消できるよう、具体的な情報を伝えることを意識して誌面を作りました。

佐々木(玲) この2ページでは、完成の裏側で私たちが何を考え、どう形にしたのかというプロセスを伝えたいと思っていました。この一冊を通じて、学校に興味を持ってくれる人が1人でも増えたらとても嬉しいです。

これからの学生編集部

渋澤 いくつか図鑑のような分厚いパンフレットを作ってみたいです。

大迫 そのためにもメンバーが増えてほしいですね。人数がいればもっと意見の幅も広がるはずですよ。

中本 魅力のある学校だということをパンフレットを通して伝え続けて欲しいです。

佐々木(玲) 今回は男子が一人だったのでこれからは学年や性別を問わず、色んな人に入ってほしいですね。

それぞれの沼にハマった第一生

みなさん「沼」って知っていますか？「沼」とは、何かにハマりすぎて抜けられない状態のことです。私たち第一生はそれぞれの「沼」にハマり学生生活をエンジョイ中！そんな私たちが思う第一の「沼」を聞いてみました。【TEXT: 森山・内徳・佐々木(慈)・渋澤】

英語沼

第一は、他の教科と比べても、特に「英語」に力を入れています。英語では、ネイティブスピーカーの先生が複数人在籍しており、わからないことがあったら、すぐに聞ける環境が整っています。



- Q 入学した時の英語力は？
- A 英検4級でした。
中学2年生で2級に合格しました。
- Q 第一入学前の英語の印象は？
- A 母が元英語教師で嫌いではなかったです。
- Q 今は英語が好きですか？
- A はい大好きです！
中でも長文を読むのが好きです。

図書室には多くの本があります。自分で選んだり、司書の先生におすすめしてもらったり、様々な本に出会うチャンスがたくさんあります。そんな「読書沼」にハマった人たちに話を聞きました。

読書沼

- Q 週に何冊本を読みますか
- A 約10冊読みます。
1日に一冊は読書をするようにしています。
- Q 読書はいつしますか？
- A 夜です。心にゆとりがもて、翌日も落ち着いた気持ちで1日をはじめられます。
- Q おすすめの本はありますか？
- A 東野圭吾さんのシリーズです。
ミステリー好きにはたまらないです!!



何口はなぜ第一高校に？

第一高校へは、第一中学校からの進学に加えて、おおよそ半数の生徒が公立中学校から進学します。様々な魅力を感じ、第一高校を選んでくれた生徒たちへ、入学の決め手を聞いてみました。



丁寧な指導で安心できる環境

私が第一高校を志した大きな理由は少人数教育です。体験入学に参加した際、少人数ならではの先生と生徒の距離の近さに魅力を感じ、ぜひこの学校で学びたいと思いました。第一中学出身者は既に高校数学を先取りしているため、入学後は日々の数学の授業とは別に補習があり大変な時期はありました。しかし、先生方が丁寧に指導して下さるので、心配は要りません。公立中学校出身者は特進クラスで私1人だけで最初は萎縮していましたが、担任の先生を含め、クラス全体が純朴で朗らかな空気に包まれており、最近では、自分だけ中学校が違うことを忘れるほどこの環境に馴染んでいます。ぜひ安心して第一高校に入学してください！

2年 竹原さん

やりたいことを実現できる雰囲気

私がこの学校への入学を決めた1番大きな理由は中学校の時の体験入学です。とても緊張していたのですが、出迎えてくださった先輩方が身近な話題を振ってくれたおかげで緊張がほぐれ、楽しく体験入学を過ごすことができました。先輩方はとても親しみやすく、この学校なら私も良い学生生活を送れるのではないかと思います。また、先生方のフランクな感じも生徒一人一人と対等に接しているように思えて、この学校に通いたいという気持ちが強まりました。現在、私が高校生活を送る中で、自分のやりたいことを伝えれば、先生方や先輩はそれにできる限り応えて下さるので、とても充実した楽しい日々を送れています。

3年 瀬崎さん



挑戦し、可能性が広がる校風

私が第一高校を選んだ理由は、将来の夢がまだ定まっていない自分でも、幅広い選択肢の中で成長できると感じたからです。進路指導が手厚く、少人数授業や個別面談を通して一人ひとりに合った目標設定ができる点に魅力を感じました。また、部活動も盛んで、仲間と切磋琢磨しながら人として成長できると思いました。学校行事やそれを通じての地域連携も多く、挑戦を後押ししてくれる校風の中で、自分の可能性を広げたいと考え、進学を決めました。先生方との距離が近く、質問しやすい雰囲気も決め手でした。現在は、将来に向けて勉強と学校生活との両立を意識しながら過ごしています。

3年 高野さん



風薫る春の校庭で熱くひとつに!

新しい季節のはじまりに、校庭が熱くなる。声を張り上げ、全力で駆け抜け、笑い合う春の体育祭! 伝統の高校応援団が盛り髪で気合いを見せれば、中高の粋をこえた熱気が校庭いっぱい広がります。

【TEXT: 新田】

団ごとに違う、応援団の魅力

我が校の応援団には、それぞれの団に独自のかつこよさがあります。力強さで表現する団、しなやかな動きで魅せる団、声の迫力で会場を包み込む団など、同じ動きをしているようで、そこに込められる思いや雰囲気が違います。だからこそ、どの団を見ても魅力あふれる演舞なのです。特に、手の角度や踏み出すタイミングがきれいに揃った瞬間は、見ている側の心が震えるほどの迫力が生まれます。また、応援団員の力強い声が重なり生徒や観客にも力を届けます。そのすべてが会場全体を盛り上げ、熱を生み出すのです。



応援団's Hair style

応援団の魅力の1つに、体育祭当日にのみに見られる、派手な盛り髪があります。それぞれの個性がありながらそれぞれに輝き、応援団の迫力を何倍にも広げています。そんな応援団のHair styleを紹介します。



そろった姿に映る伝統のヤンハ魂

体育祭で披露されるヤンハは、単なる競技ではありません。鹿児島第一中学校で代々受け継がれてきた伝統の演舞です。学年が上がることに、手の角度、足の踏み出し、声のタイミングが揃うようになり、成長が見られます。



成長の証 高校2年生の揃った拳

高校2年生による空手演武は、ただ技を披露するだけでなく、1年間の成長を示す大切な時間です。揃った拳と声が一斉に繰り出されるたび、会場には張り詰めた緊張と熱気が広がります。一体となった動きの裏には、何度も繰り返した練習や仲間同士で支えてきた努力がみえます。



一つになった吹奏楽部の力

中高合同で披露される吹奏楽部の演奏は楽器の音の響きを体で感じることができます。その演奏は、ただのBGMとして演奏されるだけでなく、体育祭を盛り上げ、一人ひとりの士気を上げる力があります。短い練習時間ながらも、日々練習を重ね、学年の違いを超えて心をひとつにして演奏します。中高一体の演奏は人の心、会場の雰囲気すらも変えてしまう、「吹奏楽部の力」そのものです。

全力だからこそ生まれた奇跡の1枚

競技中の真剣な表情や全力で頑張っている姿の中で、思いがけず生まれた奇跡の写真を集めました。狙って撮れるものではない奇跡の1枚ばかり。全力で取り組んでいるからこその一瞬と、仲間と楽しんでいることが感じられる写真をご覧ください。【TEXT:新田】



遠心力に負けるな!

大きな竹を3人で持ち、三角コーンをぐるりと廻る「台風の目」。スピードが上がるほど遠心力が大きくなり、いかに竹から手を離さずにいられるかの勝負が始まります。全力で走り抜けながら、3人で声を掛け合い、踏ん張る姿が見ている側まで楽しくなる熱戦です。



力を合わせて倅ダッシュ

二人一組で重い倅を持ち、全力で走り抜ける倅リレー。重さにふらつきながらも、息を合わせて走る姿は、思わず声援を送りたくなります。女子は5kg、男子は10kgと普段は持つことのない重さの倅を走りながら持つという難しい競技ではありますが、逆転劇など見どころ満載です。



力を合わせて一本勝負

綱を握った瞬間から勝負は始まります。掛け声を合わせて、後ろへ一歩、更に一歩と勝負を掴み取るために全力で綱を握ります。見ている人からも大きな声援が飛び交い、一体感が生まれ、まさに団結が勝敗を分ける熱い戦いとなります。



100m決勝、最速の座は誰の足に

スタートの合図とともに選手たちが一斉に飛び出すと、会場全体が熱い声援と緊張に包まれます。ゴールまでの短い距離でも全力で走る姿は、これまでの努力とプライドが伝わってきます。更にこの競技は先生たちも走る事があり、会場は大盛り上がり。普段授業をしている先生が真剣に走る姿は見ものです。



勝利を託すバトン

色別対抗リレーは、各チームの思いを一本のバトンに託して走り抜ける、体育祭のクライマックスとも言えます。スタート前から応援の声は高まり、走者一人ひとりの顔には、緊張とやるぞという決意が見られます。走者は、声援に背中を押され、全力で駆け抜ける姿は見ている人の心を熱くします。



クラスの個性、大集合

学年種目では、学年の個性もクラスの個性も一気に集まる競技です。スピードを活かすクラス、団結力で戦うクラス、工夫・作戦の頭脳で戦うクラスなど、それぞれのクラスの個性がはっきりと現れます。仲間同士で声を掛け合い、助け合いながらクラスの絆を深め、学年優勝を目指し戦います。クラスらしさが輝く瞬間がたくさん詰まった、まさに「個性大集合」の競技です。



脇役なし。彩光のワンシーンを



2日目なんて考えない!

文化祭1日目は歌、ダンスなど様々な舞台発表があります。中でも一番多いのが劇です。劇をするクラスは台本から大道具まで全て自分たちで用意するので、とても大変です。時には意見が合わないこともありますが、なんとか本番までに仕上げます!1日目のラストは、中学1年生による合奏・合唱です。初めての文化祭で緊張を乗り越えて、練習の成果を発揮します。先輩たちも一緒になって盛り上げます。2日目など考えられないくらい、1日目から全力を出し切ります。



1年に1度、学校が鮮やかに彩られる特別な日。仲間と笑い合い、悩みながら準備したステージや展示、模擬店が勢揃い。普段とは違う“私たち”が輝く瞬間がここにあります。さて、どのようなドラマが生まれているのでしょうか。ご紹介します。【TEXT:大迫・中本・新田】



食べて・見て・体験して・楽しむ文化祭2日目

文化祭2日目は、高校生が主役となって、学校中が盛り上がる1日です。ステージでは、ダンスや楽器演奏、歌唱、劇など多彩な個人発表が行われ、それぞれの人達が練習の成果を存分に発揮します。教室では高校生が企画から制作まで全てを手掛けた模擬店が並び、食べ物や体験型の企画を楽しむ来場者の姿が見られます。また、外にはキッチンカーも登場し、校外から訪れた人たちも買い物を楽しむことができます。食べて、見て、体験して楽しめる文化祭2日目、ぜひ一緒に楽しみましょう!

Beyond the Classroom

中学校3年生になると修学旅行でシンガポールを訪れます。英語が日常的に使われる環境で、現地の人と話し、文化の違いに触れる3泊5日。英語を「使う」体験は、自分の英語を伝えたい気持ちを育て、実践的な英語力につながります。世界の中で学ぶ体験は、自信と視野を広げてくれます。【TEXT:山下・岩谷・新田】

1 日目(11/4) 初めての海外体験、始まる!

鹿児島空港出発→台北市内観光(龍山寺)→台湾出発
保護者や先生に見送られ、鹿児島空港を出発。
経由地である台北で最も古い寺院・龍山寺に行きました。

2 日目(11/5) 肌で感じる異文化

シンガポール到着→シンガポール市内観光→シンガポール
国立博物館・マーライオン公園→マリーナバレー→ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ
昼食:ラオパサホーカーセンター
午前1時ごろにシンガポール空港に到着!
お昼ごろからはシンガポール市内を観光しました。

3 日目(11/6) 英会話体験と動物とのふれあい

チャイナタウン→ナイトサファリ
昼食:マックスウェルホーカーセンター
B&Sプログラムはグループ研修。現地の学生さんと英語でコミュニケーションをとりながら、チャイナタウンを案内してもらいました。
ナイトサファリは夜だけ開園する動物園で、トラムという乗り物に乗って園内を回りました。ホワイトタイガーやバクなどの珍しい動物を間近で観察することができました。

4 日目(11/7) 異国の街で

自主研修 →リトルインディア・アラブストリート
→マリーナベイ・サンズ ザ・ショップス
昼食:テッカセンター

5 日目(11/8) 心に刻む最後の1日

シンガポール出発→台湾経由→鹿児島空港到着
お昼頃に鹿児島空港に到着。様々な学びや体験を得た3泊5日の修学旅行に幕が降りました。

Live for the moment you can't put into words!



2日目 マーライオン公園にて



333K 77K 44.4K
#MerlionPark #SchoolTrip #Singapore #KagoshimaDaichi

異国の食文化は意外と...

シンガポールでの食事は、思ったよりも日本と似ていると感じました。例えば、2日目の昼食を食べたラオパサは所々に日本語が書いてあったり、ハンバーガーや炒飯などの日本でも売っているような料理がたくさんありました。味も、日本とほとんど変わらず食べやすかったです。食事が合わなくて困っている人は、特にいませんでした。

自主研修中に食事に行ったテッカセンターは、ローカルフードの屋台が多く立ち並ぶ所です。ここはラオパサと比べてカレーなど辛いものが多く売っていて、辛くて大変そうな生徒もいました。

飛行機での機内食では、ライチ味の烏龍茶など独特なものも多く、苦手な人もいましたが、異国の食文化に触れる良い機会となりました。

You can enjoy!

3年間の集大成

修学旅行での最後の活動は自主研修。あらかじめ、各班で行きたい場所や交通手段などの調査を重ねて、スケジュールを作成しました。テッカセンターでお昼ごはんを食べた後は、生徒だけで街を巡り、異国情緒溢れる色彩豊かなモスクや寺院を見学したり、おとぎ話に出てきそうな香水屋さんに行ったりしました。

現地の方に英語で道を尋ねるなどしながら、全班が無事、時間通りに最終ゴール地点であるサルタン・モスクに辿り着くことができました。

自主研修スケジュール

- 10:30 ホテル出発→バスでリトルインディアへ
- 11:30 グループごとにテッカセンターで昼食
→リトルインディア(チェックポイント)散策
- 13:30 MRT(地下鉄)でアラブストリートへ
→アラブストリート散策
- 15:30 サルタンモスク前に集合



2日目 シンガポール国立博物館内の様子

DID YOU KNOW?

Q.ホーカーって何?

A.屋台が沢山集まっている場所のこと。チキンライスや小籠包、カレーなど様々な料理や、ココナッツジュースやまる搾りにした果物のジュース、三口などを楽しめます。私たちはラオパサホーカーセンター、マックスウェルホーカーセンター、テッカセンターに行きました。



チェックポイントにて



集合場所のサルタン・モスク



始まる4日間

飛行機に乗り、鹿児島から東京へ3泊4日の旅! 東京に降り立ちまずは浅草の天ぷら屋さんで昼食。胡麻油で揚げられたこだわりの天ぷらはとても美味しく、これからの楽しい4日間への期待に胸を膨らませました。その後、国会議事堂に行き、日本の政治の中心を見学し、政治への関心を一層深めました。東京スカイツリーで夕焼けの絶景を堪能した後はディナークルーズです! マナー教室も兼ねたコース料理に皆舌鼓を打ちました。

仲間と踏み出す自由な世界

中学校とはまた違った楽しみがあるちょっと自由な研修旅行、第一で楽しんでみませんか? このページでは自分達で計画を立てながら仲間たちと過ごす充実した4日間を紹介します。

【TEXT: 吉永・上野・佐々木(玲)】



世界を知る一歩

2日目は自主研修。事前に各自で計画を立て、いざ東京の街へ。日本のハブステーションでもある東京駅で迷子になりながらも皆無事に出発! 外国人観光客も多く、突然道を聞かれたり写真撮影のお願いをされたり、英語で話す機会もあり、世界の広さを学びました。自主研修の後は、舞浜アンフィシアターで美女と野獣を鑑賞。迫力ある演技や演出に圧倒されました。



夢のような1日

待ちに待った東京ディズニーシー! 人の多さや異国感溢れる雰囲気に驚きながらも夢の国を満喫。被り物を買ってディズニーの世界に入り込みながら、タワー・オブ・テラーなどの絶叫系のアトラクションに乗ったり、可愛いディズニーのキャラクターと写真を撮ったり楽しさいっぱいの1日を過ごしました。

おみくじの結果は...

いよいよ楽しい研修旅行も最終日。1日目にも訪れた浅草で、人形焼や雷おこしなどのご当地グルメを楽しんだり、おみくじを引いたりしました。凶が多いと噂の浅草のおみくじですが、意外にも皆良い結果に。その後は、お台場で各自好きところで昼食を食べたり観光をした後は、空港で旅の思い出を語り合いながら鹿児島へ戻りました。自律性が身につく世界を広さを知った4日間でした。



#学校全体盛り上がり界限



2月に行われたクラスマッチ。普通のクラスマッチとは一味違う!今回は“ミニ運動会” 運動会よりもディープな競技をご紹介します!【TEXT: 渋澤】



シュールさも魅力

真剣な面持ちで野球ボールでお手玉をする生徒たち。“ドリブル競争”が始まりました!くじ引きで選んだボールでドリブルしながら走るドリブル競争。どのボールになっても容易ではありません。三つの野球ボールを使ってお手玉をしながら走ったり、卓球ラケットでボールつきをしながら走ったり。思っていたより難しい!のめり込むあまり、みんな口が半開きに。本人たちは真剣ですが、傍目に見ればちょっぴりシュールなドリブル競争でした!



協力し合ってゴールイン

「少女漫画みたいー!」と盛り上がっていた“借り人競争”。始まってしまえば、そんな優雅なことは言ってられません。くじ引きのお題通りの人を観客席から見つけます。“袖を捲っている人”“苗字に自然がついている人”など意外と難しいお題。全力で走りながらお題を叫んで探したり、ずっこけたり。少女漫画とは程遠い……でも、お題通りの人を見つけて、ゴールした時のみんなの笑顔は少女漫画にも負けません!



応援も含めてクラスマッチ

みんなで力を合わせてとび跳ねる“大縄跳び”。とんでいる人たちよりも盛り上がっていたのが、観客席!「そこももっと巻いて!」「タイミング合わせろー!」観客席から遠隔でアドバイスの嵐。小学生時代の大縄跳びの達人たちによるアドバイスはとてもの確。いけるいける。「とべとべ!」とんでいる本人たちよりも大声を出して盛り上がっていました。



空に輝くカラーボール

最後の競技は“玉入れ”。一番配点が高いので、本気で挑みました。クラス全員参加で1分間全力でカゴにボールを投げ入れ続けます。カゴを支えてくれるのは担任の先生なのですが、先生に当てるとなんとマイナス5点!直前に「当ててみよっかなー」と言っていた人たち。対策されていましたね。先生に当てないように配慮しつつ、様々な戦略を考えながら頑張りました。最高記録を出したのは3年1組! 58個でした!

クラスの想いを背負って優勝へ



第一高校ではクラスマッチにクラスでオリジナルTシャツを作ります。一生懸命考えたカラフルなクラスTシャツにも注目! 全員の力を合わせて頑張りました! 【TEXT: 上野・中本】



シンプルながら存在感のある黒のクラスTシャツ。実は担任の先生の名前が入った特別感ある一枚です! それぞれの想いと団結力が込められています。気持ちをひとつにし、最後まで全力で競技に挑みました。

目を引くピンクのクラスTシャツで気分も最高潮! おそろいの一枚を身にまとい、仲間との団結力を感じながら、男女共に一つひとつの競技に全力で取り組みました。



一戦たりとも負けられない! みんな本気です



みんな汗を流して頑張りました

一致団結!クラスマッチ開幕

クラスの団結力が試されるクラスマッチは、毎年多くの生徒が楽しみにしている行事です。競技を通して仲間と声を掛け合い、優勝を目指します。応援の声が響くグラウンド、体育館には笑顔と感動があふれ、終わった後にはクラス全員で円になって声を掛け合い、笑顔と涙が溢れる忘れられない思い出が残ります。各クラスが制作したクラスTシャツにもぜひ注目!



先輩にも負けません!



仮装して優勝狙い!!

10月には中学校でハロウィン行事が行われます。毎年決められたテーマにそって仮装をします。今年のテーマは「コミカルホラー」でした。学活の時間や休み時間を使ってクラスみんなで仮装を考えます。設けられた準備時間内に教室の飾りつけやメイクをし、1年生から3年生の教室を見に行きます。どのクラスが一番テーマにあった仮装をできているかを投票するイベントです。



小さなことも 大きな記憶

鹿児島第一では、先輩や後輩、先生方との親睦を深める行事が年間を通してたくさん行われます。行事の規模に関係なく盛り上がること間違いありません! このページではそんな行事をいくつか紹介します。

【TEXT: 糸木・今村】



親睦を深める大チャンス!!

中学校では年間で計3回の遠足が行われます。最初の遠足は新生が入学してすぐです。下井海岸でバーベキューをしたり砂浜で生徒会主催のレクリエーションが行われたりします。2回目は11月です。3年生が修学旅行に行っている期間、1・2年生は遠足です。それぞれ行き先が違うので、どこに行くのか毎年期待に胸を膨らませています。今年は1年生が水族館に、2年生が動物園に行きました。2月下旬に行われるのが3年生とのお別れ遠足です。昨年は仙巖園に行き、建物内の散策やお店での買い物を楽しみました。中学校の遠足はレクリエーションが多いので、他学年、他クラスの生徒と親睦を深める大チャンスです。



鍛錬の成果を示す舞台

厳かな雰囲気の中で行われる校内空手道大会は、鹿児島第一高校ならではの恒例行事です。空手の授業で身につけた成果を発揮する舞台として盛り上がります。1番足元がふらついていた人に贈られる「おっとっと賞」や空手衣の着こなしが良かった人が選ばれる「ファッション賞」など、毎年OBからのユニークな賞があるのも、この大会の魅力のひとつとなっています。

空手道授業で黒帯取得!



私は空手の経験がなく授業で初めて触れました。稽古を通して、礼を重んじる精神に惹かれ、技術・精神共に磨き上げられた証として黒帯を取得したいと思いました。空手道部監督の福岡先生の指導や、空手道部の同級生からのアドバイスのおかげで少しずつ技・心を磨くことができました。その結果、念願の黒帯を取得。また校内空手道大会では大勢の前で形を披露し、個人3位、団体優勝という結果を残すことができました。授業の中で同級生同士で技を教え合い、洗練させていくことで、協調性・主体性を育むことができます。

第一高校で空手道を学び、自分を成長させていきましょう!!



R7年卒業 東さん



動いて、笑って、最高の1日!

高校1年生では2学期に遠足があります。前年は学校近くにある下井海岸まで歩いていき、ビーチバレーやバーベキューを楽しんだあと、国分スターレーンでボーリング大会を行いました。ボーリング大会ではストライクが出るたびに歓声があちこちから聞こえてきたりと凄く賑やかです。男女ともにトップ3まで表彰もあるため、白熱した試合が繰り広げられていました。

SCHOOL LIFE & EVENTS

～一つ一つの瞬間を思い出に～



中高合同の大きな行事を含め、鹿児島第一には様々な行事があります。鹿児島第一ならではの行事も多く、四季を楽しみながら充実した一年を過ごすことができるのも一つの魅力です。他学年との交流の場でもあるので、普段はあまり関わる機会がない先輩や後輩とも話せることで学校全体一丸となって楽しむことができます。【TEXT:今村】



4月
入学式・対面式
新入生歓迎行事
国分城山登山
お花見・授業参観



新年度の始まりです。校内の桜も咲き誇り、希望と緊張が入り混じった爽やかな空気に包まれ、一人ひとりが新生活への一歩を踏み出します。



5月
色とりどりの演出と熱気に包まれる
体育祭の月。
歓声が響くグラウンドで、全力の瞬間が輝き、青春のページが鮮やかに刻まれます。(R8年は4月開催)



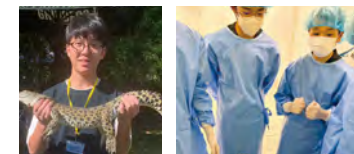
6月
期末テスト・考査
総探発表
教育実習
文化講演会



6月は文化的な行事が多く、視野を広げながら学びを深め、それぞれの目標に向かって努力する月となっています。



7月
宿泊学習・企業見学・職場体験・第一リハ体験
オーストラリア語学研修・クラスマッチ(中・高)
前期サマースクール・国分夏祭り総踊り



アクティブな行事が詰め込まれた7月! 各学年様々な野外活動で学びます! 中高ともに短期留学をする生徒も多く、唯一無二の夏の体験になります。



8月
水泳実習
後期サマースクール



本校にはプールがないため、学校近くの市民プールまで歩いていきます。
文化祭準備も始まります。



9月
文化祭
生徒総会
2学期最初の一大イベントとなる文化祭は中高合同で2日間あり、舞台発表や模擬店などを楽しむことができます。



10月
ハロウィン行事・創立者記念日
中間テスト・考査
一人ひとりの個性が爆発するハロウィン行事! テーマに沿ったNo1クラスを決めます! 限られた時間の中、黒板アートやメイク係などそれぞれ役割分担して行います。



11月
チャレンジレース
修学旅行
1日遠足
中3、高2は待ちに待った修学旅行!
チャレンジレースでは頑張った後、温かい豚汁が振る舞われるため、それを楽しみに、より一層頑張ることができます!



12月
期末テスト・考査
クラスマッチ(高)
ウィンタースクール
書道大会
アトリウムにブルーシートを敷き、一斉に今年の反省や来年の抱負などを書き1年を締めくります。今年最後のクラスマッチも、全力で挑みます!



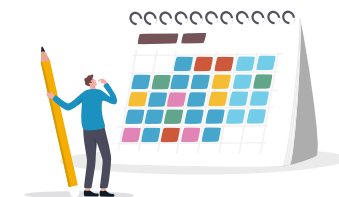
1月
大学入試
共通テスト
高校3年生は、大学入試共通テストがあります。部活の新人戦や2月にある学年末テストなどに向けて各々頑張る月となっています。



2月
クラスマッチ(中)
節分イベント
学年末テスト・考査
2月の節分行事は迫力満点の鬼たちが校内に登場! ?豆まきで厄を払い、福を呼び込みます。



3月
校内空手道大会
お別れ遠足
立志式・卒業式
中2が参加する立志式は夢や目標を宣言し、大人への自覚を持って一歩踏み出す機会です。高1、2は授業での練習の成果を発揮する校内空手道大会があります。





自分を深める3年間

第一中学校は、学ぶことに前向きな雰囲気の中で、生徒同士が互いに刺激あいながら成長できる環境です。基礎力と応用力を着実に身につけながら、自己理解を深め、自分らしい個性を探求するカリキュラムを展開しています。高校・大学を見据えた先生方の「全力ばんそう」に支えられ、意識の高い仲間たちと共に大きく成長できます。【TEXT:山下】

高め、高めあう学び舎

私たちは1年間に5つ(1年生は4つ)の定期テストと3つの対外模試を受けます。これらのテストに向かうときこそ第一の勉強に対する意識の高さを感じます。例えば、休み時間や昼休みの時間は、友達と互いにわからないところを教え合ったり、職員室に質問しに行ったりします。本校の魅力は、隣で勉強に励む仲間がいてくれる、そして頑張る生徒を支える環境が整っているということです。

また、第一は自主的な勉強も大切にしています。スピーチコンテストや英検・漢検・数検などを学校側が積極的に取り入れ、生徒もそれぞれが自分に必要な学びを追求しています。このような「仲間と互いに高め、高めあう学び」と、「自主的な勉強」のかけ合わせが本校の学習スタイルだと思います。

私たちと一緒に学びませんか?



第一中、ここが強い!2つの魅力

1つ目は第一高校の先生から授業を受けられることです。これは中高一貫校ならではのことであり、6年間の長期的な勉強を考えると大きなメリットになります。

もう1つは英語の授業です。ネイティブスピーカーの先生が授業を持ってくださったり、日本人の英語の先生と一緒に授業をしてくださったりします。自然な英語に親しむことができ英語のリスニングやスピーキングに大きなアドバンテージを持つことができます。

夢が色づく3年間

第一高校は勉強に対して、自由な発想と挑戦を大切にしている雰囲気が特徴です。夢の実現のきっかけを与えるカリキュラムと生徒一人ひとりへの「全力ばんそう」と共に、希望の進路の実現を目指して日々努力を重ねています。本校は生徒それぞれに合わせたコースや進路への幅広いサポートが整っています。【TEXT:山下】

勉強を、将来を身近に。

第一高校での授業は学びの楽しさを重視するユニークなものです。教科書の内容だけではなくゲーム感覚で予備知識を身につけることもあります。

少人数制なので先生と生徒の距離も近く、わからないところをすぐに聞けるオープンな関係で勉強に打ち込めます。テスト前は休み時間や昼休みなど時間の使い方を工夫してテストへの対策をしています。

クラス内が一丸となって勉強に集中できる環境を作っているため、落ち着いた気持ちでテスト勉強に取り組むことができます。

また、高1では金融講座、高2では各ブースに自由に参加できる進路説明会など、それぞれの学年で独自の学習や進路に関するイベントが組まれており、幅広い知識や選択肢に触れることができます。

自分で作る充実の土曜日

第一高校の土曜日には毎週「英検対策講座」が行われます。学年関係なく自分が受けたい級で分かれ、苦手な分野を勉強します。また、各学年「独学」と呼ばれる自習の時間が組まれています。授業でわからなかったところを補填したり「英検対策講座」の続きの自習をしたりします。自分に必要な学習を自分で考えること、そしてそれを進めることができる決まった量の時間を持つことは、自分の可能性を大きく広げるきっかけになると思います。



第一中生の普段の顔

さて、この学校での様々な行事や勉強について説明してきましたが、普段はどんな生活をしているのか気になりませんか？行事は全力で楽しみ、勉強もしっかり頑張る。そんな第一生中の1日を少しのぞいてみましょう！【TEXT:大迫】



一日の流れ

バスや自転車、徒歩などで登校

8:10~8:20	朝の学活
8:35~9:25	1校時
9:35~10:25	2校時
10:35~11:25	3校時
11:35~12:25	4校時
12:25~13:10	昼食・昼休み
13:10~14:00	5校時
14:10~15:00	6校時
15:05~15:15	清掃
15:20~	帰りの学活

→部活や自習、下校



日々の積み重ね

授業は基本、1時間あたり50分で行われます。3年生の2学期からは7時間目も行われます。なかでも、数学、国語、英語などの授業は多く、1日に同じ教科が2回あるといったことも結構あります。同じ教科でも分野や習熟度などに合わせて担当される先生も変わるので、毎時間新たな気持ちで授業を受けることができます。授業内容は、教科書の内容が多いですが、授業中に休憩を入れて面白い話をしてくださったり、授業に関係することをゲームにして学んだり、生徒自身が参加して学習することができています。こうした日々の授業を積み重ねていって、実際にテストなどで結果が出た時はとても嬉しいです。

東の間の休憩

昼休みは昼食時間含めて45分と少し短めですが、その中で様々な時間を過ごしています。まずはグラウンド。昼休みになるとボールの貸し出しが始まるので、外で遊ぶ人も多いです。サッカーやバレーなど、様々な遊びを楽しんでいます。次に、図書室。図書室は中高合同なので、仲のいい高校生と偶然会うこともあります。もちろん、クラスで友達と雑談をして過ごすこともあります。その日の授業の話だったり、次の行事の話だったり、毎日話題は尽きないです。学食で温かいご飯を食べることもできます。このように、毎日充実した日々を過ごしています。

日々が学びとなる場所で

1日の多くを過ごす学校。授業、休み時間、放課後など決まった時間割の中でも、その過ごし方は多様です。授業に真剣に向き合い、互いの違いを認め合う環境で仲間と支え合いながら共に成長していきます。ここでは、ある生徒の1日をご紹介します。【TEXT:中本】

Q どうして特進クラス

A 将来の夢は獣医です。特進クラスは獣医学部進学に必要な数学や理科をしっかり学べるからです。



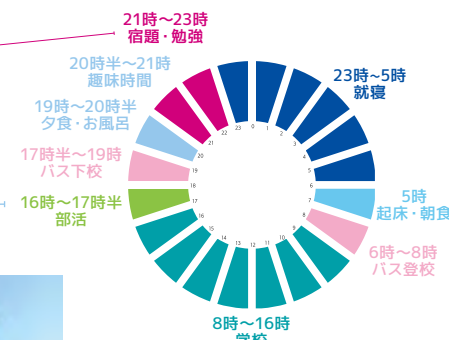
渡邊あやめさん (高校2年・特進クラス)
部活:陸上部、放送クラブ 出身地:志布志市
趣味:読書、ジョギング、アニメ鑑賞、ハム吸い
習い事:英語(週1)水泳(週1)ピアノ(週1)塾(週4)



趣味時間の後は切り替えて机に向かうのがいつもの流れです。復習や課題を中心に、無理のない範囲で勉強しています。授業を思い出しながら進めることで、理解が深まっていると感じます。



陸上部と放送クラブを兼部しており、曜日毎に活動に取り組んでいます。長距離専門ですが、短距離の練習にも取り組んでいます。



休み時間は友達と話していたらあっという間です！
コーヒを飲んで少しの眠気を誤魔化しながら授業を受けることもしばしば・・・。

進学に向けて

大学に進学するためにも毎日の授業や自宅に帰ってからの学習が大切です。休み時間を使って、友人と教え合ったり、難しい問題と一緒に考えたりすることが日常の光景となっています。また、先生との距離が近く、質問や進路相談がしやすい環境です。また、先生の異動がないため、同じような進路を目指した先輩の話を参考に聞かせてくれることもあります。学業面でも精神面でもとても頼りになる先生方ばかりです。

充実した高校生ライフを

勉強だけに追われる学校生活ではありません。休み時間にはプチお菓子パーティーをしたり、卒業もしていないのに同窓会の話で盛り上がりだったり。クラス全員で作戦を練って先生にドツキリを仕掛けてみたり、単語テスト開始ギリギリまでみんなで必死に足掻いたりする姿も日常の一コマです。登校したら自然と笑顔が溢れる毎日です。

日常の中の刺激～部活動～

普段の生活の中にあるけど、特別な体験。そんな「日常の中の刺激」である部活は新しい学校生活で悩むことの一つだと思います。「そもそも部活に入るのか?」「どんな部活に入るのか?」様々な疑問があると思います。このページでは、入学後の部活動生活について少しでもイメージが湧くように、部活動生に質問をしてみました!【TEXT:大迫】



- 中学部活**
- 野球部
- 男子硬式テニス部
- 女子硬式テニス部
- サッカー部
- 空手道部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 陸上部
- バレーボール部
- 吹奏楽部

- 高校部活**
- 空手道部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- 水泳部
- 野球部
- 陸上部
- 弓道部
- テニス部
- サッカー部
- 吹奏楽部
- 和太鼓部

- 高校同好会**
- 書道同好会
- 英語同好会(ESS)
- イラスト同好会
- 科学実験工房

- 高校クラブ**
- SDGsクラブ
- 放送クラブ
- 山岳クラブ



様々場所で、それぞれの部活が

鹿児島第一には中高合同での部活が33個、中学だけの部活が7個、高校だけの部活・同好会・クラブが15個、合計25個の活動があります。中学生は基本的に17時30分が下校時刻なので、16時ごろから約1時間15分間の部活時間があります。(高校は18時30分に最終下校です。)

部活動では、中学校舎、高校校舎、アトリウム、第1グラウンド第2グラウンドなど様々な場所で行われているため、たくさんの場所でそれぞれの部活の魅力を感じることができます。4月には先輩からの部活動紹介があり、毎年各部活がユニークな紹介をします。特に遠足の途中に行われる中学の部活動紹介は、新入部員獲得のため、先輩たちの気合が入ります。

空手道部(中・高)



小原さん

- Q 顧問の先生の熱量はどうか?
- A 一人ひとりの部員に対して全力で指導されています。
- Q 主な活動内容は?
- A 筋トレ、組手(対人練習)、形(団体など)。
- Q 一言メッセージをどうぞ
- A 全国大会出場を目標に全部員で頑張っています。

書道同好会(高)



吉満さん

- Q 練習量はどれくらい?
- A 文化祭の2ヶ月前は1-2時間です。
- Q 部活の魅力は?
- A 書道パフォーマンスを披露できることです。
- Q 一言メッセージをどうぞ
- A 練習時間は短いですが、書道パフォーマンスを通して書道の楽しさを感じることができます!

バレーボール部(中・高)



豎山さん

- Q 部員同士の仲はどうか?
- A 部員同士の仲の良さが自慢です!学年関係なく声を掛け合い、楽しく本気でバレーをしています!
- Q 部活に入ったきっかけは?
- A あまり知りませんでしたが、先輩が面白く、楽しそうな雰囲気に惹かれて直感でこの部活を選びました。
- Q 一言メッセージをどうぞ
- A 続けるうちにハマって、自然と本気になれる部活です。



ここにしかない"いつもの場所"

本校では、生徒の可能性を最大限に引き出すための施設環境が整っています。隣接する系列校では講演会の際、講堂を利用したり、学生食堂を利用できたりすることに加え、ICT機器を完備した専用ルームや、リニューアルされた人工芝のグラウンドなど、日々の学びと生活をより豊かにする環境が揃っています。【TEXT:中本】



※画像はイメージです

人工芝グラウンド



完成したばかりの人工芝グラウンド。広いコートは昼休みや部活などで利用することができます。

アトリウム



高校校舎の窓から眺めることのできる体育館です。体育の授業や全校集会などで利用します。放課後にはバスケットボール部とバレーボール部、雨天時はサッカー部や野球部の筋トレ場所として利用することもあります。

理科室



理科室は、様々な実験道具が置いてあり、授業で理科の実験を行う時に利用します。

購買部



毎日の学校生活を支える購買部。文房具やノート、パンやワッフルなどの軽食に加え、お弁当を注文することができます。曜日によって違ったお弁当屋さんがくるので種類も豊富です。高校生はアイスも購入することができます。

厚生会館



講演会があるときなどに利用される施設です。開放感があり広々とした空間であるため集中してお話を聞くことができます。多くの生徒が集まり、いつもとは違う雰囲気の中で新しい発見や刺激に出会える場となっています。

音楽室



音楽の授業で使う他にも放課後には、吹奏楽部が自由に楽しみながら練習しています。5階に位置するので、窓からきれいな人工芝を眺めることができます。

図書室



日本語の本だけでなく、英語のリーディングを鍛えることのできる本や漫画もあります。新しい本をリクエストすることができます。

幼稚園



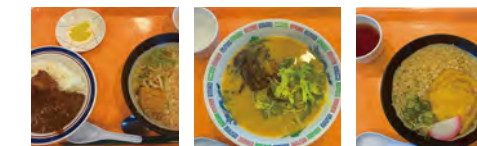
隣接する系列幼稚園では、家庭科の授業の一環として幼稚園実習を行います。実践的に学ぶ機会となっています。

学食



系列校の学食を利用することができます。友達と予定を立てて食へに行く日は楽しみで、午前の授業もあつという間に過ぎていきます。お弁当を作るのが大変なときに利用する生徒も多く、寒い冬は温かいご飯を食べることが出来るのも一つの大きな魅力です。

学食ランキング



1スペシャルうどん 2ラーメン 3きつねうどん

ダイイチ・コレクション

第一の制服はその日の気分、天気、気温に合わせてポロシャツを着るか、制服かを選ぶことができます。15色以上のカラフルなポロシャツは、第一の象徴である個性を表現しています。女子のスラックスも人気です。去年から、リボン、ネクタイ、カッターシャツの種類が増え、さらに制服を選ぶことが楽しくなりました。【TEXT:上野・吉永】



中学
正装



女子の夏服



ネクタイやリボンはお好みに合わせて

高校
正装



女子の夏服

上品なHANAEMORIデザイン!

デザイナーの森英恵さんによってデザインされた、上品で清楚なイメージの制服です。リボン、ネクタイ、シャツの組み合わせ次第で様々な印象のコーディネートが楽しめます。



去年からカッターシャツの種類がピンク、青も増えました!写真は青色のカッターシャツを着ています。



第一のロゴがデザインされた灰色のスウェットです。体育の時に体操服の上から着るのもよし!制服の上から着るのもよし!バリエーションがたくさんあります。



女子のスラックスを履いている様子です。シンプルで綺麗なデザインとなっています!校内でも気軽に履くことができます。

リボン、ネクタイもカッターシャツと同様、去年から追加されました!どちらも4種類あり灰色、青色、黄色、赤色があります。どの色も制服に合っているととても可愛く、かっこいいです。



中学生の夏服のスカートはチェック模様でとても可愛らしいです。ピンク色のポロシャツも着こなせます!

ポロシャツも15色以上の種類があります!



人気のポロシャツたち

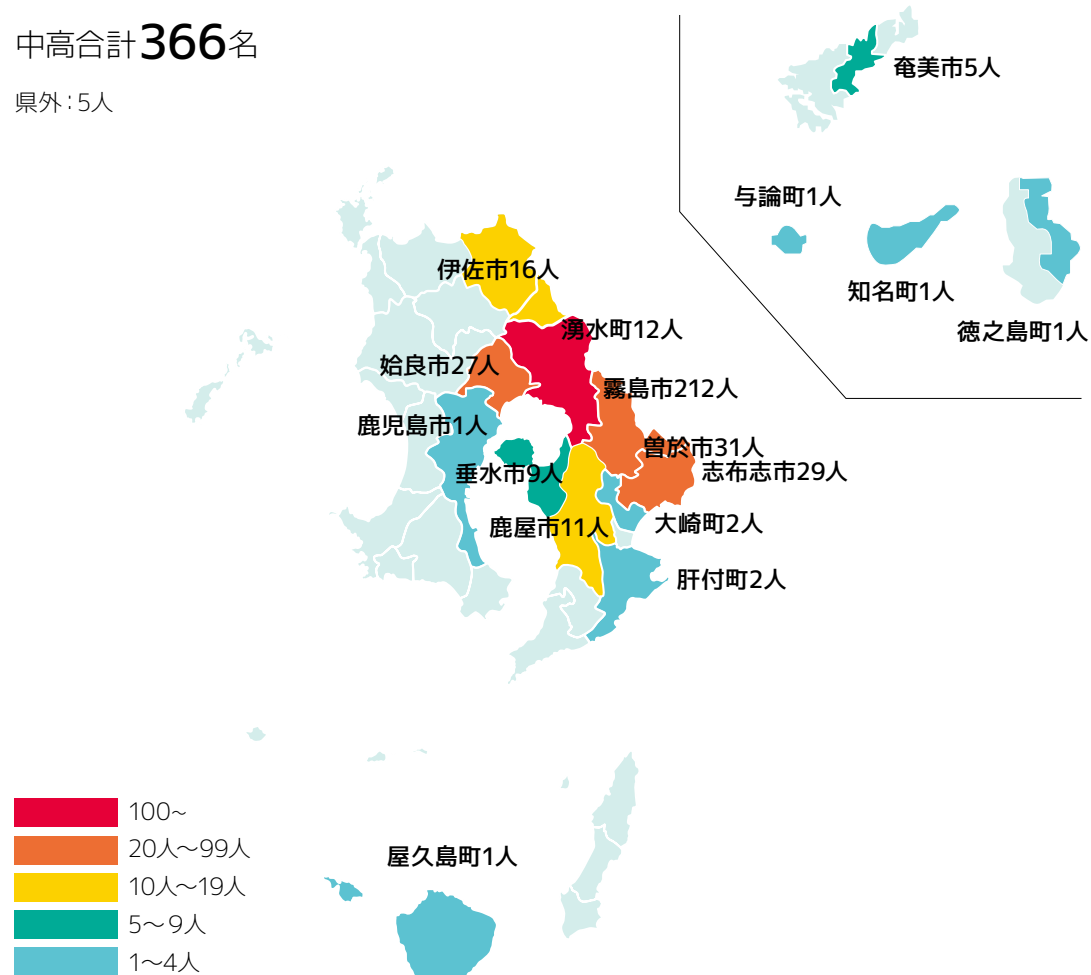
みなさんに人気のあるポロシャツの色を聞いてみました!カラフルなポロシャツがあることにより、学校がより彩り豊かになり、楽しく過ごすことができます

第一生分布図～在校生MAP

出身小学校をもとにMAPを作りました。このように本校には様々な地域から生徒が集まっています。そのため、学校生活の中でたくさんの新たな学びや発見を得ることができます。【TEXT:岩谷】

中高合計 **366**名

県外: 5人



多様な地域から集まった私たち

本校には、霧島市以外にも始良市や志布志市、奄美市といった様々な地域から生徒が集まっています。そのため「サルが車に登って遊んでいた」「近所に温泉の源泉がある」「庭に絶滅危惧種のクロソウヘラサギがいた」というような友人の珍しい体験談を聞くことができます。異なる環境で育ち、それぞれ違う様々な経験や価値観を持つ仲間と共に同じ学び舎で過ごすことで、新たな学びや発見を得ることができ、自分の未来の選択肢を広げることができます。

わたしたちの快適な居場所

スクールバスは、徒歩や自転車などでは登校することが大変な生徒でも、快適に学校まで行くことができます!第一のバス生しか知らないスクールバス内の実態を一緒に探ってみよう!



バス通学の魅力

バスでの通学は、普段の学校生活とは少し変わった環境です。そのため、違う学年の人と交流したり、好きなゲームの話や、恋バナ、趣味の話など、幅広い内容の雑談をして、より仲を深めることもできます。他にも、バスに乗っている間に勉強をしたり、睡眠をとったりする人もいます。そして、いろいろな学年の人がいるため、勉強を教えてもらったり、それぞれの学年で起こったことを共有しあったりして、交流を深めています。このように、バスの中は、バス生にとって大切な居場所となっています。

スクールバス運行コース JR国分駅で下車→徒歩10分

始良コース	ファミマ始良松原前 (6:25) →宮島バス停 (6:28) →ローソン始良平松前 (6:36) →青雲会病院前 (6:40) →イオン前 (6:48) →東岩原バス停 (6:55) →加治木本町バス停 (6:58) →加治木駅 (7:02) →加治木高校前 (7:05) →糸走 (7:18) →医療センター (7:28) →松永バス停 (7:30) →日当山小学校バス停 (7:32) →学校到着予定 (7:55)
霧島市内コース	フレスポ前コインランドリー前 (7:05) →とれクリニック前 (7:07) →景色ヶ浜バス停 (7:09) →B&B釣具前 (7:12) →本町バス停 (7:14) →小浜バス停 (7:20) →セブン小野前 (7:26) →ローソン内山田前 (7:29) →隼人駅前 (7:33) →ナナ美容室前 (7:35) →学校到着予定 (7:55)
伊佐満辺コース	大口ふれあいセンター (6:30) →ローソン重留前 (6:39) →菱刈中前 (6:47) →横川警察署前 (7:05) →そばの実前 (7:14) →陵南中コインランドリー前 (7:26) →陵南小学校前 (7:27) →西光寺バス停 (7:37) →ナフコ隼人店前 (7:39) →ローソン日当山前 (7:40) →学校到着予定 (7:55)
吉松牧園コース	えびの道の駅 (6:15) →湧水原口温泉入口 (6:27) →吉松駅前 (6:30) →吉松中学校手前 (6:31) →栗野大和GS前 (6:41) →栗野コスモス前 (6:43) →横川植村駅前 (6:57) →霧島温泉駅 (7:03) →牧園支所前バス停 (7:07) →エイシン工業前 (7:20) →セブン霧島神宮駅 (7:33) →久保田バス停 (7:45) →学校到着予定 (7:55)
財部(10号線)コース	都城平塚セブン (6:50) →深川柳迫小バス停 (6:52) →深川新原バス停 (6:54) →末吉道の駅バス停 (6:57) →セブン牧之原前 (7:12) →検校橋バス停 (7:29) →鳴子前食堂バス停 (7:32) →広瀬4丁目バス停 (7:35) →大野原バス停 (7:37) →かつや前 (7:38) →しんち歯科前 (7:41) →浜崎釣具前 (7:44) →学校到着予定 (7:55)
志布志コース	アピア前 (6:15) →ファミマみかえり (6:33) →やまひろ亭前 (6:43) →味彩館前 (7:02) →JA岩川前 (7:05) →坂元郵便局前 (7:20) →牧之原小前 (7:28) →学校到着予定 (7:55)
鹿屋垂水コース	セブン医療センター (6:10) →おばま病院前 (6:12) →セブン慰霊塔前 (6:22) →自然の家入口 (6:30) →垂水中前バス停 (6:50) →ほりのうちストアー前 (6:57) →牛根麓バス停 (7:01) →牛根二川バス停 (7:10) →牛根深港バス停 (7:13) →上境バス停 (7:18) →ローソン敷根 (7:31) →下井コインランドリー前 (7:35) →園田バス停 (7:37) →迫田バス停 (7:38) →学校到着予定 (7:55)
末吉岩川コース	平川自動車ピン前 (6:20) →マックスバリュバス停 (6:23) →旧末吉駅前 (6:28) →ふれ愛ランドリー前 (6:31) →末吉小児童クラブ前 (6:32) →有村歯科前 (6:33) →合気道場前 (6:34) →末吉二之方 (6:36) →大路自動車前 (6:40) →山口製茶前 (6:44) →八合原ファミマ (6:54) →学校到着予定 (7:55)

※毎年、学生の利用状況によりバスのルートは調整されます。

第一寮の秘伝“虎ノ巻”

親元を離れて同年代の生徒と共同生活を送る寮。どんなところなのかな?と気になっている人も多いはず!ここでは先輩寮生に聞いた!第一寮の虎ノ巻を質疑応答形式でお伝えします!【TEXT: 渋澤】

知って安心。第一寮のヒ・ミ・ツ

Q 寮生ってどんな人...?

A 個性豊かなメンバーが揃っています。寒さに耐えられない人、なぜか傘を持っていない人、自分の名前を早く言える人など。

Q 病気になったらどうするの?

A 家が近い人は実家に戻ったりしますが、遠い人は寮の別室で安全に過ごすことができます。

Q どうやって通学するの?

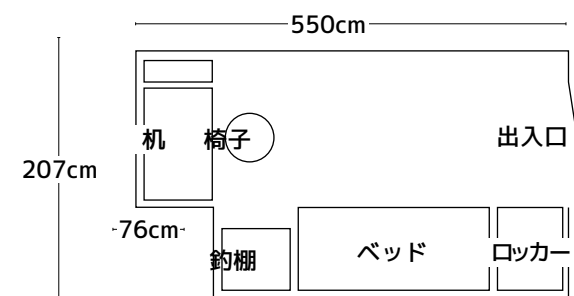
A 寮から歩いて通学します。歩いて10分程度の距離なので、適度な運動になります

Q 外出できますか?

A 普通にできます。休日には出かけたりします。

Q お風呂の温度は何度くらいですか?

A 体感40度くらいです。(意見が分かれました)



仲間と共に成長する第一寮

寮生活で一番楽しいのは、仲間と一緒に過ごす何気ない時間です。夜になると誰かの部屋に集まってゲームをしたり、学校や部活動の話で盛り上がったりしています。日曜日の夜は寮で夕食がでないため、友達と誘い合って外食に行くこともあり、それが寮生ならではの楽しみです。

入寮前は、生活のすべてを一人でこなさなければならず、大変そうだという不安がありました。しかし実際に生活してみると、寮には仲間がいて、助け合いながら毎日を過ごせる環境だと気づくことができました。

集団生活を通して、時間を意識して行動する力や、物事を効率よく進める力も身につけてきます。困ったときにはすぐに相談でき、うれしいことは共有できる仲間がいることが、寮生活の一番の良さです。

最初は不安があっても、ここにはそれ以上の楽しさがあります。仲間と成長できる寮生活に、ぜひ挑戦してみてください。



努力を認め、挑戦を育むスカラーシップ

日々の学習や課外学習に真摯に取り組む生徒に向けて、本校は充実のスカラーシップ制度を用意しております。スカラーシップ制度を通じて、日々の取り組みを評価し、生徒が次の目標へと力強く歩むことを支援します。【TEXT: 山下】

中学校学費

入学金	100,000 円
授業料	45,000 円
後援会費	1,000 円
校友会費	1,000 円

中学校奨学金

- 学園奨学生**・・・学業、人物共に優秀な生徒に対し、入学金や授業料を補助する制度です
- 弟妹奨学生**・・・兄弟が学園に在籍している生徒に対し、授業料を補助する制度です
- 系列校奨学生**・・・鹿児島第一幼稚園卒園の生徒に対し、入学金を免除する制度です

高校学費

入学金	100,000 円
授業料※	38,000 円
教育充実費	12,000 円
後援会費	1,000 円
校友会費	1,000 円

高校奨学金

- 学園奨学生**・・・学業、人物共に優秀な生徒に対し、入学金や授業料を補助する制度です
 - 弟妹奨学生**・・・兄弟が学園に在籍している生徒に対し、授業料を補助する制度です
 - 系列校奨学生**・・・鹿児島第一幼稚園卒園の生徒に対し、入学金を免除する制度です
- ※授業料は国の就学支援金制度により全額補助されます

学ぶ環境を整える各種就学支援制度

本校ではさまざまな就学支援制度を設けています。特に優秀な生徒を対象とした「奨学生制度」は、本校を代表する就学支援制度のひとつです。奨学生に選ばれることで、経済的負担が軽減されるだけでなく、周囲の優秀な仲間とともに切磋琢磨できる環境が得られます。

奨学生以外にも、国や県の補助金をはじめ、本校独自の支援制度を活用することで、生徒一人ひとりの学びの機会を広げることを目指しています。各家庭の状況に応じた支援により、「学びたい」という想いを全力で応援する環境が本校にはあります。興味のある方は、ぜひお問合せください。

わたしの成長と学校のミライ



中学生徒会長インタビュー! 鹿児島第一中学校第27代生徒会長・中本珠愛さんに第一に入学した自分自身の変化や、これから第一をどのように変えていきたいかについてお話を聞いてみました。第一中の魅力がいっぱい詰まったインタビューです!【TEXT:山下】



中学生徒会長 中本さん

Q 第一ってどんな学校だと思いますか

A クラスメイトや先輩、先生方との距離が近く誰とでも話しやすく、とても明るい学校だなと思います。また、授業や話し合いでどんな意見でも発言でき、周りが受け入れてくれるところです。

Q 第一に入学して自分自身の変化はありましたか?

A 小学生の時から正義感は強くて「みんなをまとめる存在になりたい」と思っていたのですが、前に出ることは得意ではなかったです。第一中に入って積極的に物事に参加できるようになりました。第一は行事が多いという魅力があります。生徒みんなが一生懸命物事に取り組んでいる姿を見ることが多いです。誰もが中心で、主人公になれる場面が多かったことが自分の変化に繋がったと思います。

Q 小学生に伝えたい第一中の魅力や生徒会の良さはどんなものですか?

A 第一はいろいろなところから生徒が集まってきます。知っている人が少ない分、自然とコミュニケーションをたくさんとるので、新しい自分を見つけたり、全然違う考え方に触れられたりします。第一に入学しようか迷っている人は、第一はとても明るくてウェルカムなところなので、ぜひきて欲しいなと思います。また、生徒会は生徒と先生をつなぐ存在です。生徒の一つひとつの意見に対して真剣に向き合い、みんなが楽しいと思える学校にしていきたいために動けるのが生徒会の良さだと思います。大変ですがやりがいがある仕事です。

「全力ばんそう」の学舎で



高校生徒会長インタビュー! 鹿児島第一高校第33代生徒会長・田島悠右さんに第一高校で思い出に残っていること、これからどんなことに取り組んでいきたいかについてお話を聞いてみました。本校の強みや生徒会長としての責任感を強く感じるインタビューです!【TEXT:山下】



高校生徒会長 田島さん

Q 第一に入学してよかったと思うのはどのような時ですか

A 先生方と気軽に話せる時です。第一中学校から入学したというのがありますが、生徒と先生方の距離はだいぶ近いと感じます。授業でも質問しやすかったり、先生と生徒という関係を少し越えた相談相手みたいな雰囲気があります。

Q これからこの学校で取り組みたいことや目標について教えてください

A 生徒会として、生徒のみんながより良い学校生活を送れるように、生徒心得の改定をしていきたいと思えます。個人的には、今年3年生になるので目標の大学に行けるように勉強を頑張りたいと思えます。

Q 中学生に伝えたい第一の魅力や生徒会の良さはどんなものですか

A 第一では先輩後輩の壁を僕はあまり感じません。これからの高校生活で不安に思っていることや悩みを先輩に相談しやすい雰囲気です。また、高校生のほとんどが大学進学を目指しています。志望校は違えど「大学に合格したい」という共通の目標があるので、学年やクラスで一丸となって努力しています。団結力が強いのが本校の魅力だと思います。生徒会は、行事の運営や学校をより良くしていくための活動などの仕事があります。そこにやりがいを感じるのが良いところです。僕は、もともと人とをまとめたり、ボランティア活動に参加するのが好きなので、そういったことが好きな人は楽しんで取り組めると思えます。

こんな疑問はありませんか？

進学先を選ぶにあたり疑問や不安がたくさんあると思います。

このページではこれまでに生徒や保護者の方から頂いた質問に答えていきます。【TEXT:岩谷・大迫】



勉強について

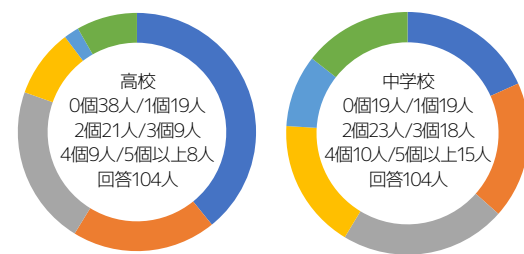
- Q** 特進クラスにはどうやって入れるの？
- A** 希望者の中で、成績が一定基準に到達した人のみが入ることができます。もちろん、普通クラスでも十分に自分の進路を目指すことができます。
- Q** 学校で受けられる検定には何があるの？
- A** 漢検の2級から4級、数検の2級から5級、英検の2級から5級の一次試験を受けることができます。
- Q** 塾に通っている人はどの位いるの？
- A** 中学・高校ではおよそ3割の生徒が塾に通っています。(英会話教室など含)

飲食について

- Q** 飲み物は何を持ってきていいの？
- A** 中学校は成長段階の身体への影響を考慮し、水、お茶、スポーツドリンクのいずれかを持ってきて良いことになっています。高校は特に制限はありません。
- Q** お菓子を持ってきてもいいの？
- A** 中学校は飲み物と同様に、身体への影響を考慮し禁止されています。高校は特に制限はなく、購買部でアイスも食べることができます。
- Q** 昼ご飯はどうしているの？
- A** 購買部や学食を利用したり、家から弁当などを持参したりしています。

服装について

- Q** 腕時計をつけてきてもいいの？
- A** 中学校、高校共につけてきて良いことになっています。中学では掃除開始時以外ではチャイムがなりません。自分で時計を見ながら行動することになっています。
- Q** 鞆に指定はあるの？
- A** 中学校では、ファーストバック、補助バック共に学校指定のもの、高校ではファーストバックは学校指定のものを使用します。補助バックは華美でないものを使用します。
- Q** ポロシャツはいつ着られるの？
- A** クールビズ期間に着用することになっています。
- Q** 靴下に指定はあるの？
- A** 華美でないものを着用し、式典時はくるぶしの見えない長さとなっています。
- Q** 鞆にキーホルダーをつけてもいいの？
- A** つけてよいです。つけている割合は下のようになっています。高校は、補助バックに色々つけている人が多いことが関係しているのかも・・・？



学校生活について

- Q** スマートフォンは持ってきてもいいの？
- A** 中学校では、スマートフォンの持ち込みは許可制です。登校時に電源を切って職員室に預けます。高校では規制はありませんが、校内では電源を切るかマナーモードにすることになっています。校内での使用は禁止されていますが、教員の許可を得て、立ち会いのもとで使用すること、指定の場所で使用することができます。
- Q** 部活には必ず入らなくていいの？
- A** 必ずではありません。部活に入っていない生徒でスクールバスで帰る生徒などは、開放されている教室で自習することができます。
- Q** アルバイトはしていいの？
- A** 原則禁止されています。
- Q** 第一生が今一番頑張っていることは？
- A** 勉強(統一模試対策、英語、英検、数学、世界地理、社会、受験勉強)
課題をいかに丁寧に早く終わらせてすぐ寝るか
苦手教科の克服
総合探求・コンパ活動・資格取得
将来の夢に向けて準備
部活(野球、サッカー、テニス、バスケ、空手、長距離走)・筋トレ
次の行事に向けての準備
生徒会・ボランティア・人助け
早起き、早寝早起き・よく寝ること
睡眠時間を確保する・質の良い睡眠
怪我の治療・硬筆・習字・書道・絵画
デジタルイラスト・太鼓・家事・我慢・儉約
ゲーム・推し活・友達作り
友達と仲良くすること
人への接し方・いつも笑顔でいること
親や家族を大切にすること
春のオープンスクールの準備
- Q** 昼休みは何をしているの？
- A** 外でサッカーをする、友達とおしゃべりするなどそれぞれ思い思いに過ごしています。
- Q** 図書室では何冊本を借りられるの？
- A** 一度に3冊まで借りられます。
- Q** 持久走大会はあるの？
- A** 中学校には「チャレンジレース」という名の持久走大会があります。女子は3.6km、男子は4.8km走ります。終わった後は、みんなで豚汁を食べます。
- Q** 怖い話や不思議な話はあるの？
- A** アトリウムに何かいるかもしれないらしい・・・先生が夜に本来いるはずもない生徒を見かけたが、すぐに消えたそうです。





伴奏 一人ひとりの個性をともに「奏」でます
 伴創 あなたのミライ像をともに「創」ります
 伴走 進路満足度100%に向けてともに「走」ります

ようこそ鹿児島第一へ

鹿児島第一中学校 大迫幸美教頭

伴奏で響き始める生徒の潜在能力

以前、自分の意見を人前で言うことを避けていた生徒がいました。私は「正解を言わせる」ことよりも、「考えを受け止める」ことを大切に、その子の言葉を聞き続けました。その生徒が高3になり、大学受験のプレゼン指導を頼まれました。正直、プレゼンで勝負することに驚きました。が、人前に立ち、堂々と意見を述べる姿を見たとき、伴奏することでメロディは確かに響き始めるのだと、私の心は大きく動きました。

学びの楽しさと教える喜び

高校生になり世界史を学び、古代遺跡や世界七不思議に強い興味を持ちました。遠い昔の人々が、どんな思いで巨大な建造物を残したのかを知ることにおもしろさを感じ、社会科の教員を志すようになりました。塾でのアルバイトを通して人に教える喜びを実感し、第一で教えるようになって20年以上が経ちました。卒業した生徒たちが、気軽に会いに来てくれることを、私は何より嬉しく思っています。

生徒たちの思いを形にする「対話」

「生徒の考えを大切にすること」を何よりも大切にしています。生徒から意見やアイデアが出たときに、「どうし

てそう思ったのか」「どうすれば実現できそうか」を一緒に考える時間を大切にしてきました。

ある時、生徒会から「生徒会を目指す生徒のために生徒会の仕事をプレゼンしたい」「資料も自分たちの手で作りたい」と声が上がりました。その言葉に、私は嬉しさと頼もしさを感じました。課題を整理し、工夫を重ねながら、生徒たちは少しずつ形になっていきました。対話を重ねる中で、生徒は「自分の考えを言葉にし、相手に伝える力」を確実に身につけていくと思います。

皆で実現する「やってみよう！」

皆さんは「これ、やってみよう！」と思うことはありませんか？第一は、そんな小さな「やってみよう！」という気持ちを、とても大切にしている学校です。まだはっきり決まっていなくても大丈夫。中学校生活の中で、「おもしろそう」「やってみよう！」が、少しずつ見つかっていきます。本校では、先生や先輩、卒業生が寄り添い、皆さんのチャレンジと一緒に考え、応援します。実際、鉄道が大好きな生徒がその思いを追い続け、鉄道模型コンテストで全国大会の特別賞を受賞したこともあります。

オープンスクールで、あなたの「やってみよう」をぜひ聞かせてください。「そんなこと？」と思うアイデアも大歓迎です。みなさんに会える日を、楽しみにしています！



伴奏 一人ひとりの個性をともに「奏」でます
 伴創 あなたのミライ像をともに「創」ります
 伴走 進路満足度100%に向けてともに「走」ります

ようこそ鹿児島第一へ

鹿児島第一高等学校 黒江大輔教頭

第一の教育文化で大切にしていること

私が生徒に向き合う姿勢で一番大事にしているのは、「将来の土台となる自己決定力」を育むことです！私は過去に人生の大きな決断で立ち止まり、「あ〜、どうしよう！」と悩んだ経験があります。だからこそ、困難な岐路に立ったとき自分で決めて進む力が不可欠だと確信しています。「将来の土台となる自己決定力」を育むということは特別に難しいことに取り組むのではなく、「単語を覚える」「計画を立てる」といった小さな決断を自分の力で積み重ねていくことだと思います。生徒が小さな努力をやり抜いた瞬間、「やったね！」と喜ぶことが私の最高の楽しみであり、その確かな一歩を、笑顔で支えていきたいのです。

第一の先生になったきっかけ

実は当初、教員は考えていませんでした。子どもの頃、寝る間も惜んでぼろぼろになるまで、繰り返し読んでいた歴史漫画から、歴史の世界にどっぷり魅了されました。研究者への道を考えたこともあったが「本当に自分にできるのか？」と覚悟と自信が持てませんでした。

その頃、ご縁で本校に着任し、自分が大好きな歴史が持つ知恵や価値を、未来を創る生徒たちに伝え、彼らの進路と一緒に考えることに、大きなやりがいを感じま

した。人生の岐路で立ち止まって頭を抱えた経験があるからこそ、生徒の可能性を信じ、彼らが未来を切り拓けるよう、全力で寄り添い支えることに、情熱のすべてを注いでいます！

「全力伴創」について

同一敷地内に大学・短大・専門学校がある本校の環境は、未来への「窓」がいくつも開いているようなものです。多様な学びに触れるなかで、当初の目標がより大きなものへと進化することもあるでしょう。生徒一人ひとりの変化に寄り添い、「伴」に未来像を「創」ることを大切にしています。変化を楽しみ、自分らしく羽ばたく力を、この場所で一緒に育てていきましょう。

可能性を広げるサポートを

進路を選ぶとき、大切にしてほしいことの一つは「この先生たちと一緒に頑張れそうか」という直感です。私たちは、あなたの「自分らしさ」と向き合い、可能性を広げるサポートにどこよりも自信があります。楽しいときだけでなく、迷ったり挫折しそうになったりしたときも、私たちはあなたのそばにいます。この場所から、あなただけの新しい物語と一緒に始めてみませんか。



伴奏 一人ひとりの個性をともに「奏」でます
 伴創 あなたのミライ像をともに「創」ります
 伴走 進路満足度100%に向けてともに「走」ります

ようこそ鹿児島第一へ

鹿児島第一中学校・高等学校 福岡源規副校長

伴走を確信できる卒業式

「伴走」について一番考えるのは卒業式の時です。中学の卒業式は、新たな仲間が増えることへの期待を感じます。高校の卒業式ではそれぞれの道へ進み、この学び舎を去ることになります。別れを惜しみ涙する生徒や担任、保護者の方々。生徒や保護者の来訪が絶えない職員室。深くと校舎に礼をして帰っていく卒業生。このような姿を見たとき「ばんそう」できたことを感じます。

恩師と同じように「ばんそう」を

私は鹿児島第一高校の卒業生です。空手道部で活動しました。楽しい学校生活でしたが、高校2年のときに虚無感、孤独感を感じ、学校を辞めたい気持ちが強くなりました。そんな時、監督が「絆」について話をしてくれました。自分の周りには自分を思ってくれる沢山の人がいて、自分自身も周りの人へ何かしらで役に立っている。決して一人ではなく、いろんなことに意味があり、価値がある。それ以降、高校生活はどんどん楽しくなってきました。今思うと、私も「ばんそう」していただいたお陰で今があります。この先生のように、人の考え方や人生に直接影響を与える「教育」の仕事に惹かれ、私も同じ道を志すことになりました。副校長になった今も、生徒への熱

い思いを忘れず、生徒の声に耳を傾け教育環境の改善に努めています。

雰囲気の良いさをうむ環境整備

日本は、伝統的に「和」の精神や集団主義があり、大きい意見や行動に合わせる傾向があると思います。もちろん、協調性や「和」の精神は大切だと思います。その反面、他の人と違う考えや少数派は否定されやすく、多様性の許容度を狭くしているようにも感じます。本校では他者の意見に対し批判的にならないよう習慣づけています。自分の考えを自由に発言ができる場があり、他者の考えとの違いに気づいて行きます。この環境が雰囲気の良さを生み出していると思います。

不安を少しでも取り除くために

現代社会は変化が激しく、将来の予測が困難だと言われています。子どもたちにとっても保護者の皆様にとっても不安や悩みは大きく、学校選びは慎重になると思います。是非、オープンスクールなどに参加し、本校の生徒や職員の雰囲気の良さ、お子様の伸びるイメージを感じてください。保護者の皆様にも安心していただけるよう、丁寧に対応いたします。学校案内を最後までお読みいただきありがとうございます。皆様とお会いできる日を楽しみにしています。



PHOTO : RYOTA NAKAMOTO
 (1998年鹿児島第一高等学校卒)
 TEXT & CONSULTING : SHINYA TOKITO
 (1998年鹿児島第一高等学校卒)
 EDIT, DESIGN & DIRECTION : NAOMICHI MATSUSHITA
 (1998年鹿児島第一高等学校卒)
 © 鹿児島第一中学校・高等学校

小学生向けイベント (予定)

不定期
土曜

キッズイングリッシュ

本校に常勤する外国人教師
による無料の英会話教室

土曜
(第3除く)

オープンサタデー

土曜午前中の授業見学
および個別相談

7/25[⊕]8/1[⊕]夏のオープンスクール 11/23[Ⓞ]入試説明相談会
学校見学会など、その他イベントも複数回実施予定！webをご確認ください

中学生向けイベント (予定)

7/25[⊕]26[Ⓞ]夏のオープンスクール

10/24[⊕]11/1[Ⓞ]11/28[⊕]入試説明相談会


12/13[Ⓞ]本番の教室で過去問にトライ DAIICHI CHALLENGE

3/20[⊕]ミライの同級生と繋がる春のオープンスクール



899-4345

霧島市国分府中214

 0120-56-4608

中学 0995-46-7831

高校 0995-46-4608